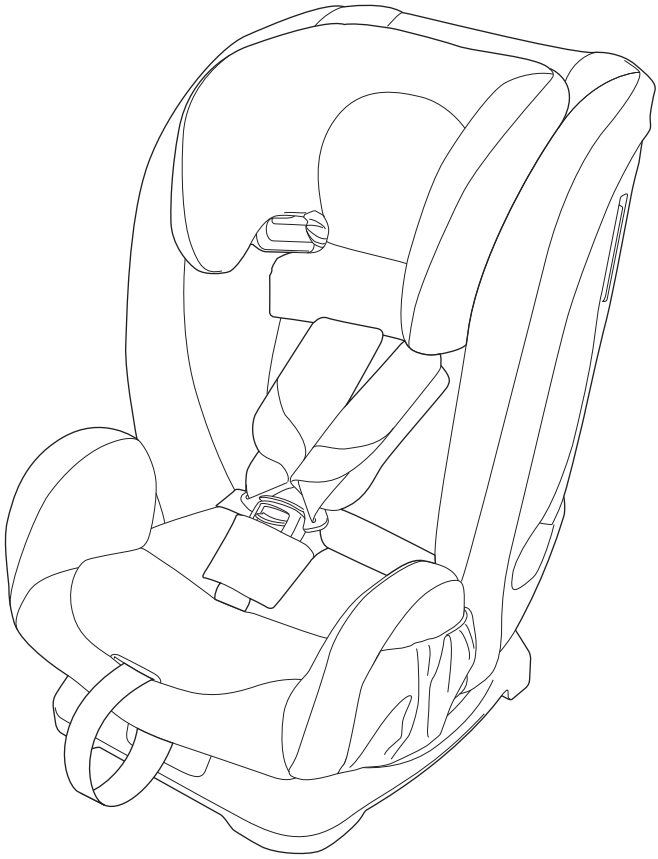
適 合 基 準： ECE R129
適 応 身 長： 76cm-145cm
適 応 体 重： 36kg 以下
年齢の目安： 生後 15 ヵ月から 12 歳頃まで

⚠ 生後 15 ヵ月を過ぎるまでは使用しないでください。

fortifi™ R129

フォーティファイ R129

取扱説明書／保証書



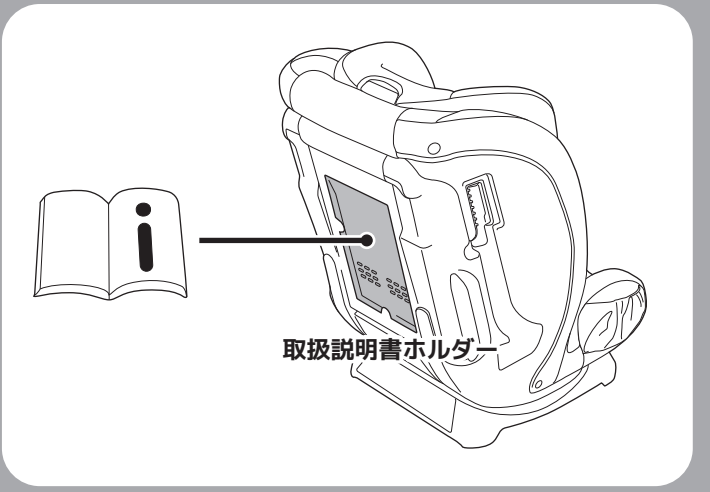
250700

JP Welcome to Joie™

ジョイー・チャイルドシートをお求めいただき、誠にありがとうございます。本製品は、自動車の座席に取り付けて使用するチャイルドシートです。

本製品は、ECE R129/03基準に適合するチャイルドシートですが、使用方法を誤ると、所定の安全性能を発揮できないばかりか、お子さまのみならず他の乗員の方や保護者の方の安全にも重大な影響をおよぼすおそれがあります。

安全に本製品をご使用いただくため、あらかじめ本取扱説明書を熟読し、内容を十分にご理解した上で本製品をご使用ください。本取扱説明書は、本製品背面の取扱説明書ホルダーに大切に保管し、必要なときにいつでも取り出して参照できるようにしておいてください。



3点式シートベルトをご確認ください。

本製品は、自動車の3点式シートベルトで座席に固定するチャイルドシートです。お車に3点式シートベルトが装備されていることをご確認ください。3点式シートベルトは、自動車の製造年月日やメーカー、車両の種類によってデザインや長さが異なる場合があります。

このチャイルドシートは、UN ECE R16または、これと同等の規格に準拠した3点式リトラクター・セーフティーベルトが装備された車両、座席でのみ使用できます。

このチャイルドシートは、3点式シートベルトのみで使用可能であり、2点式シートベルト、4点式シートベルト、5点式シートベルトでは使用できません。

このチャイルドシートは、ISOFIX固定装置による固定はできません。

もくじ

はじめにお読みください ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4
　ユーザー登録のお願い ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4
　正しい使用 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4
　チャイルドシートについて ・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4
　使用に関するアドバイス ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5
　適合する自動車の座席について ・・・・・・・・・・・・・・ 5
　本製品の情報 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5
　表記の説明 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6
　内容物の確認 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7
　各部の名称 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8
　使用できるお子さまの条件 ・・・・・・・・・・・・・・・・・ 9
自動車の座席に関して ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 10
　使用可能な座席の位置と向き ・・・・・・・・・・・・・・・ 10
　シートベルトの使用 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 10
　使用できない座席 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 11
使用上の注意事項 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 13
緊急時の操作 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 20
基本的な使いかた ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 21
　バックルの使いかた ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 21
　リクライニングの使いかた ・・・・・・・・・・・・・・・・・ 22
　肩ベルト（ハーネス）の長さ調節 ・・・・・・・・・・・・・ 23
　ヘッドサポート・肩ベルトの高さ調節 ・・・・・・・・・・・ 24
ハーネスモードでの使用 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 26
　取り付けかた ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 26
　お子さまの乗せかた ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 31
ブースターモードでの使用 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 36
　ブースターモードへの切り替えかた ・・・・・・・・・・・・ 36
　肩ベルトの高さ調節 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 40
　お子さまの乗せかた ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 41
お手入れのしかた ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 48
　カバー類、パッド類の取り外し ・・・・・・・・・・・・・・・ 48
　カバー類、パッド類のお手入れ ・・・・・・・・・・・・・・・ 54
　本体（シート・ベース）のお手入れ ・・・・・・・・・・・・・ 56
　抗菌・抗ウイルス製品の使用にあたっての注意 ・・・ 57
保管のしかた ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 57
廃棄のしかた ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 57
保証書 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 58

はじめにお読みください

本製品は、ECE R129 基準に適合するチャイルドシートです。
身長 76cm-145cm（体重 36kg 以下）のお子さまに使用することができますが、お子さまが生後 15 ヵ月を超えるまでは使用を開始しないでください。
本製品は、UN ECE R16 または、これと同等の規格に準拠した自動車の 3 点式リトラクター・セーフティーベルト（3 点式シートベルト）を使用します。

ユーザー登録のお願い

チャイルドシートをご使用いただくにあたって、国土交通省推奨によるユーザー登録へのご協力をお願いいたします。本製品は、日本国内で使用を認められているチャイルドシート基準に適合しています。本製品は、当該基準に適合するよう万全の注意をもって製造されていますが、万が一基準に適さない製品が発生し、かつその製品が出荷されてしまった場合、直ちにその製品を入手されたお客様にご連絡を差し上げ、対象となった製品を修理する必要があります。
このような場合に、迅速にお客様に情報をお伝えし適切に対応できるよう、お客様にはユーザー登録をお願いしています。
お預かりしたお客様の個人情報は、弊社が管理し、お客様の承諾を得ない限り、この緊急の連絡の目的以外には利用いたしません。

正しい使用

本製品が、所定の安全性能を発揮するように、本書および本体の表記の指示に従って、正しく自動車の座席に取り付けて、正しい方法で使用してください。

チャイルドシートについて

本製品は、万が一の交通事故の際や自動車の急制動 (急発進･急停止･急なハンドル操作など) によって生じる、お子さまへの負担や衝撃を軽減することを目的としているものであり、お子さまを交通事故や急制動により生じる負担や衝撃から無傷で守る事を保証する製品ではありません。
また、本製品を正しく使用しないと、交通事故や急制動時に本製品が所定の性能を発揮できないばかりか、本製品が動くなどして、お子さまの安全のみならず、他の同乗者の安全にも重大な影響をおよぼすおそれがあります。
本製品を使用するにあたっては、本取扱説明書の記載内容および本製品本体の表記、ならびにお使いになるお車の取扱説明書の指示を理解し、その内容に従って、常に正しくご使用ください。
また、どれほど短い距離、どれほど短時間のドライブであろうとも、本製品を常に正しくご使用いただくとともに慎重で安全な運転を心がけるようにしてください。

使用に関するアドバイス

お子さまのチャイルドシートの使用を習慣付けるようにしてください。また、大人の方も必ずシートベルトを着用するようにしてください。長距離を走る場合、最低でも 1 時間おきに休憩をとり、お子さまをシートから降ろしてあげるようにしてください。
本製品はお子さまの成長、発達、着衣の状態に応じて調節できる部位、部品があります。常にお子さまの体型や着衣の状態に応じて適切に調節するように心がけてください。
事故時や、緊急事態時には、お子さまを直ちに応急処置し、医療機関にご相談ください。

適合する自動車の座席について

本製品は、すべての自動車、座席において使用できるとは限りません。
本製品の対応する車種、座席の情報については、以下のホームページに掲載の「適合車種一覧」をご確認ください。
なお、適合車種一覧は適宜更新しています。

カトージ ホームページ
katoji.co.jp

本製品の情報

本製品は、内臓のハーネスを装着する「ハーネスモード」と、自動車の 3 点式シートベルトを装着する「ブースターモード」で使用することができます。それぞれのモードにおいて使用方法、使用可能なお子さまの範囲は異なります。
また、どちらのモードで使用する場合も、3 点式シートベルトは必須となります。

ハーネスモード （3 点式シートベルトを使用）

1. 本製品はユニバーサル・ベルトテッド・エンハンスド・チャイルド・レストレイントシステムです。本製品の適合する基準 ECE R129 によって、主として「ユニバーサル･シートポジション」と自動車の取扱説明書において指定されている座席での使用が可能です。（すべての車両、座席で取り付けが可能とは限りませんので、必ず適合車種一覧をご確認ください）
2. 本製品の取り付け、使用に関して疑問がある場合は、お買い求めになった販売店または当社お客様サービスまでご連絡ください。

ブースターモード （3 点式シートベルトを使用）

1. 本製品は i-Size ブースターシート・エンハンスド・チャイルド・レストレイントシステムです。本製品の適合する基準 ECE R129 によって、主として「i-Size」対応と自動車の取扱説明書において指定されている座席での使用が可能です。（すべての車両、座席で取り付けが可能とは限りませんので、必ず適合車種一覧をご確認ください）
2. 本製品の取り付け、使用に関して疑問がある場合は、お買い求めになった販売店または当社お客様サービスまでご連絡ください。

原材料　　：プラスチック／金属／縫製品
パテント No.：特許出願中

本取扱説明書では、本製品を使用するにあたって特にご注意・ご留意いただく事項を「危険」「警告」「注意」に区分し、強調して表記しています。
この表記に付随して記載されている内容を無視すると、本製品をご使用になるお子さまや保護者の方、また、周りにいる方や物品に損害をおよぼすおそれがありますので、必ずこれらの内容を十分に理解した上でご使用ください。

危険・警告・注意の表記について

表記	表記の内容
⚠危険	この表記に付随して記載されている内容を守らなければ、死亡または重傷に至る切迫した事態が生じることを示します。
⚠警告	この表記に付随して記載されている内容を守らなければ、死亡または重傷に至ることがあり得ることを示します。
⚠注意	この表記に付随して記載されている内容を守らなければ、軽傷または中程度の傷害を負ったり、本製品またはその他の物品に損害をあたえたりすることがあり得ることを示します。

禁止と警告

表記	表記の内容
	警告や注意を促す事柄を示しています。
	禁止事項を示します。

強調・禁止の表記について

表記	表記の内容
	この表記に付随して記載されている事柄は、正しい状態にあることを示します。
	この表記に付随して記載されている事柄は、誤った状態にあること、または禁止されていることを示します。

ポイントの表記について

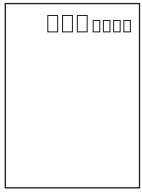
☞ポイント!	この表記に付随して記載されている事柄は、本製品をご使用いただくにあたって知っておいて頂きたい重要な情報や、本製品をより便利にご使用いただくための情報です。

内容物の確認

本製品には次のものが同梱されています。すべてのものが揃っていることを確認してください。万が一、足りないものや破損しているものがある場合、そのままご使用にはならず、大変お手数ですが巻末の保証書に記載のお客様サービスまでご連絡ください。

本体

本書



ユーザー登録はがき

☞**ポイント!**

本製品では、使用するモードの切り替え時やお手入れの際に、シートのカバー類やパッド類を取り外すことができます。シートのカバーやヘッドサポートのカバー、肩ベルトパッド、股ベルトパッドを紛失しないようにご注意ください。これらのカバー類やパッド類は本製品を構成する重要な安全部品ですので、本書において特に指示がない限りは取り外した状態で使用したり、他のもので代用したりすることはできません。紛失、破損の際には本製品の使用を中止して、お買い求めの販売店または巻末の保証書欄に記載されたお客様サービスまでお問い合わせください。

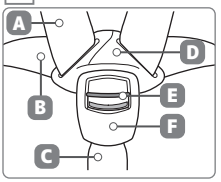
⚠警告

窒息のおそれがあります

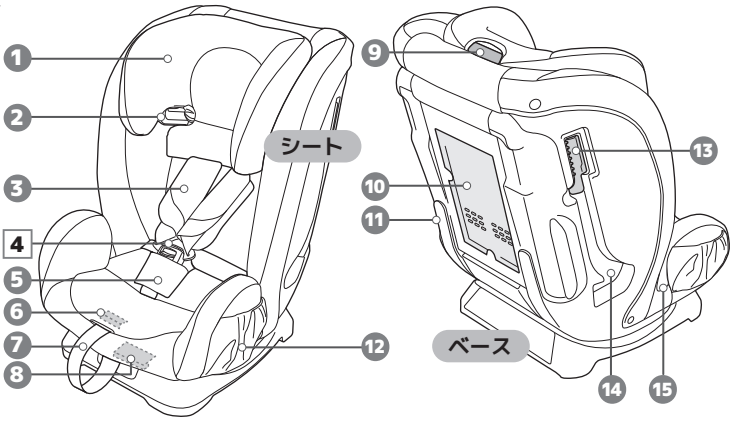
お子さまがかぶり窒息するなど重大な事故につながるおそれがありますので、本製品を梱包しているビニール袋類は開梱後、直ちに破るなどした上で、お子さまの手の届かないところに廃棄してください。

本取扱説明書においては、本製品の各部位、各部品について、次の通りの名称を用いています。本取扱説明書の記載内容の部位、部品に関して、必要に応じてご確認ください。

4 バックル／ハーネス



※肩ベルト、腰ベルト、股ベルトをあわせて［ハーネス］と表記している場合があります。



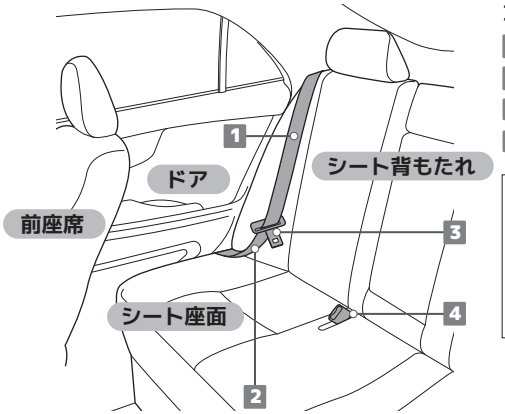
1. ヘッドサポート
2. 肩ベルトガイド
3. 肩ベルトパッド
4. バックル／ハーネス
5. 股ベルトパッド
6. ベルトアジャスター
7. アジャストベルト
8. リクライニングレバー
9. ヘッドサポートアジャストレバー
10. 取扱説明書ホルダー
11. 肩ベルトスロット
12. ポケット
13. ロックオフデバイス
14. バックスロット
15. シートスロット

4 バックル／ハーネス

- A 肩ベルト
- B 腰ベルト
- C 股ベルト
- D 差込みタング
- E バックルリリースボタン
- F 受けバックル

自動車に関わる各部の名称

本取扱説明書においては本製品を取り付ける自動車の座席の部位、部品に関して言及している箇所があります。本取扱説明書において自動車の部位、部品については以下の通りの名称を用います。



3 点式シートベルト（シートベルト）

1. シート肩ベルト
2. シート腰ベルト
3. シートタング
4. シートバックル

☞ポイント!
お車の取扱説明書（オーナーズマニュアル）においては、別の名称で記載されている場合があります。必要に応じて、左図を参照し、お車の取扱説明書の表記と照合するようにしてください。

使用できるお子さまの条件

本製品を使用できるお子さまの範囲と条件は、本製品の適合するチャイルドシートの基準によって定められています。
使用するモードによって、それぞれ使用可能な範囲が異なります。
それぞれの範囲にあてはまらない、また本取扱説明書に記載されている条件に適合しない場合は本製品を使用しないでください。

⚠危険

条件に当てはまらない場合は使用しないこと
各モードで定められた使用可能な条件をお守りください。条件に満たない、または超えての使用は大変に危険です。

生後 15 ヵ月を超えるまでは本製品を使用しないでください
身長、体重が条件に合致していても、お子さまが生後 15 ヵ月を超えるまでは使用しないでください。

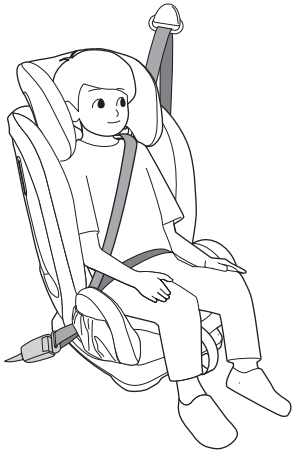
ハーネスモード

使用可能なお子さまの条件と使用方法

使用する向き	**進行方向に対して前向き**
取り付け方法	**3点式シートベルト**
お子さまの装着	**本製品のハーネス**
適応身長	**76cm-105cm**
適応体重	**体重22kg以下**
月齢・年齢	**生後15ヵ月※1を超えてから4歳頃※2まで**
リクライニング	**1 ~4が使用可能**

※ 1 他の条件が適していたとしても、お子さまが生後 15 ヵ月を超えるまでは本製品を使用しないでください。
※ 2 使用終期の年齢は目安です。適応身長、適応体重を超えた場合は使用を中止してください。

ブースターモード



使用可能なお子さまの条件と使用方法

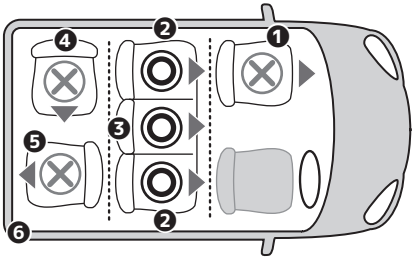
使用する向き	**進行方向に対して前向き**
取り付け方法	**3点式シートベルト**
お子さまの装着	**3点式シートベルト**
適応身長	**100cm-145cm**
適応体重	**体重36kg以下**
月齢・年齢	**3.5歳頃から12歳頃まで※**
リクライニング	**1 ~4が使用可能**

※　月齢・年齢は目安です。

自動車の座席に関して

使用可能な座席の位置と向き

本取扱説明書においては、本製品の各部位、各部品について、次の通りの名称を用いています。本取扱説明書の記載内容の部位、部品に関して、必要に応じてご確認ください。



❶助手席 …… **×使用不可**※1
❷ 2 列目左右ドア側席 …… **○使用可能**
❸ 2 列目中央席 …… **○使用可能**※2
❹（進行方向）横向きの座席 …… **×使用不可**
❺（進行方向）後ろ向きの座席 …… **×使用不可**
❻ 3 列目以降の座席 …… **○使用可能**※2

※1 使用できません。より安全な後部座席での使用をお勧めします
※2 3点式シートベルトが装備されている座席であれば使用できる可能性があります

自動車側においてチャイルドシートやブースターシートの使用に関して、条件等が指定されている場合がありますので、自動車の取扱説明書を併せてご確認ください。
本製品が使用できる車種、座席の情報に関しては、適合車種一覧で確認していただけます。

カトージ ホームページ
katoji.co.jp

⚠危険

使用の可否の条件を守ること
上図の座席すべてで使用可能とは限りません。上図は、座席の位置と向きについて使用の可否を記載したものです。この位置と向きであり、かつその他の条件を満たした座席でのみ使用可能です。

シートベルトの使用

本製品では、使用するモードに関わらず自動車の 3 点式シートベルトを使用します。2 点式シートベルトや 5 点式シートベルトの座席、シートベルトが装備されていない座席では使用することができません。また、年式の古い車両においては、3 点式シートベルトでも、シートベルトの仕様により本製品を使用できない可能性があります。本製品は、ALR（ELR に切り替え不可のタイプ）方式および NR 方式のシートベルトには対応しておりません。

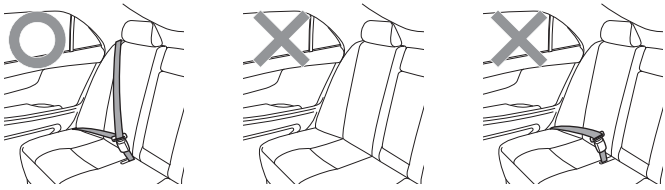
使用できない座席

本製品は、すべての自動車、すべての座席で使用できるものではありません。本製品を取り付け、使用できる自動車、座席の情報については、お車の取扱説明書と適合車種一覧を参照してください。

⚠危険

以下に示す座席では絶対に使用してはいけません。この指示を守らないと、死亡または重傷に至る切迫した事態が生じます。

3 点式シートベルト以外の座席
シートベルトが装備されていない座席はもちろん、2 点式、4 点式、5 点式シートベルトでは使用できません。必ず 3 点式シートベルトの装備された座席で使用してください。
本製品は、UN ECE R16 またはこれと同等の基準に準拠した 3 点式シートベルトで使用することができます。



助手席
当社ではチャイルドシートの助手席での使用は推奨しておりません。事故や衝撃を受けた際にダッシュボードにぶつかったりするほか、運転に支障をおよぼすおそれもありますので、より安全な後部座席に取り付けて使用してください。

適合車種一覧で取り付け不可、使用不可となっている車種または座席
本製品の適合車種一覧で、取り付け不可、使用不可となっている車種または特定の座席では使用できません。また車種が適合していても、すべての座席で取り付け、使用可能とは限りません。ご購入前、ご使用前に適合車種一覧をご確認ください。

本製品を安定して設置できない座席
極端な凸凹がある座席や幅や奥行きが極端に狭い座席、極端に傾斜した座席やドアやコンソールなど座席以外の構造物に本製品が接触する座席、自動車の座席の可動操作に干渉する座席では、本製品が安定しないため取り付けないでください。また、適合車種でも限定モデルや中古車の場合には、特殊な座席が付いている場合や、座席そのものが交換されている場合もあります。これらの場合、適合車種一覧での取り付け可否に関わらず、本製品を安定して設置できないこともあります。

安定しない座席や、座席やドアの開閉に干渉する座席
安定しない座席や取り付け時に本製品の角度に異常が生じる座席、可動式の座席で座席を動かした際に本製品に干渉する座席、自動車のドアの開閉時に干渉する座席では使用しないでください。

本製品の取り付け操作中に移動する座席
本製品の取り付け操作中に動く座席には取り付けないでください。

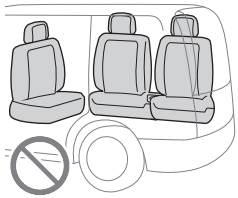
前後に簡単に移動する座席
3 点式シートベルトの固定に影響が生じるおそれがあります。使用中、取り付け操作中に簡単に前後に動く座席では使用しないでください。

⚠危険

以下に示す座席では絶対に使用してはいけません。この指示を守らないと、死亡または重傷に至る切迫した事態が生じます。

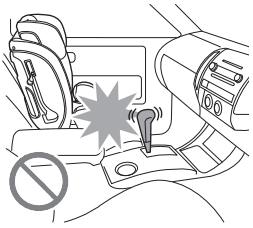
進行方向に対して前向き以外の座席

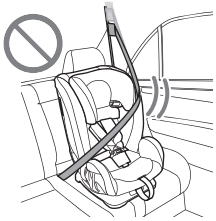
本製品は、車の進行方向に向かって前向きの座席でのみ使用することができます。車の進行方向に向かって後ろ向きや横向きの座席では使用できません。また、車の進行方向に向かって前向きでも、補助席などの特別な座席、バス、電車、飛行機、船などの座席では使用しないでください。本製品は、車種適合表において取り付け可能と指定されている車種、座席でのみ使用可能です。



本製品を使用することによって運転、操作に支障をきたす座席

本製品を使用すると、ドアミラーが見えにくくなる座席やサイドブレーキやシフトレバー、ハンドル、ウインカーなどの操作に影響を与えて自動車の安全な運転操作に支障をきたすおそれのある座席では使用できません。本製品は後部座席で取り付け、使用してください。





パッシブシートベルトが装備された座席

ドアを閉めると自動的にシートベルトが装着されるパッシブシートベルトが装備された座席では、本製品を使用できません。

乗員の脱出に影響を与える座席

片開きドアのワンボックスカーのドア側の座席など、本製品を使用することにより、他の乗員が緊急時に自動車から脱出しにくくなるおそれがある座席では使用しないでください。

実際に本製品を使用する前に緊急時を想定して、使用しようとする座席の上に本製品を置き、その状態で、すべての座席から他の乗員が容易に乗降できるかどうか、また、緊急時にお子さまを迅速に脱出させることができるかをあらかじめ確認してください。

その他、しっかりと取り付けられない座席や、取り付け作業中に安定しない座席

取扱説明書に従っても、しっかりと固定できない、安定しない、本製品の角度等に異常がある、座面の形状が変化する座席など、正常に安定して取り付けや使用ができない座席では、使用しないでください。

日常的な使用時に干渉する座席

日常的なチャイルドシートの使用において、本製品の操作時や、自動車の座席を動かしたり自動車のドアを開閉したりする際に、車両の構造物や可動部と本製品が干渉するような座席では使用しないでください。

使用上の注意事項

本製品の誤った使用は、所定の機能を発揮できないばかりか、お子さまのみならず他の乗員の方にも思わぬ危険をおよぼすおそれがあります。
ここでは、本製品をお使いいただくにあたって注意していただきたい重要な事柄や、「してはならない」重要な禁止事項について説明しています。

⚠危険

以下に記載する内容を守らなければ、死亡または重傷に至る切迫した事態が生じることを示します。

本取扱説明書および本体の表記に従って正しく自動車の座席に取り付け、使用すること
本書の指示にない使いかたはしないでください。本書および製品本体に記載する方法以外での取り付け、使用はしないでください。正しく固定されていないと事故や衝撃を受けた際に本製品が所定の安全性能を発揮できず、思わぬ事故につながるおそれがあります。

本製品の取り付け、設置場所に注意すること
取り付け、設置する場所によっては、可動式の座席や自動車のドアに挟まれ、思わぬ事故につながるおそれがあります。あらかじめ安全を確認した上で取り付け、使用してください。

使用条件を厳守すること
本製品は適合する基準によって使用できるお子さまの条件が定められています。この使用条件を守らないと、本製品が所定の安全性能を発揮できず、思わぬ事故につながるおそれがあります。
ハーネスモード、ブースターモードそれぞれ、使用できるお子さまの条件が定められています。本製品は、それぞれの条件に適合した状態でのみ使用することができます。本書の指示に従って正しくお使いください。

本製品は取扱説明書および自動車の取扱説明書の内容を理解した大人の方が操作すること
本製品を誤った状態で使用すると、お子さまばかりか、他の乗員の方にも危険がおよぶおそれがあります。たとえ使用方法を理解していたとしてもお子さまに操作をさせないでください。また、第三者に本製品を使用させる場合にも、本書を必ず参照させて本製品を正しく使用できるようにしておいてください。

お子さまを正しく座らせて使用すること
本取扱説明書の記載に従い、本製品を正しく調節して、正しくお子さまを座らせて使用してください。シートベルトを間違って使用したり、お子さまを立たせたり、正座、中腰の体勢で使用したり、複数のお子さまを座らせたりしてはいけません。

取扱説明書は本製品背面の取扱説明書ホルダーに入れておくこと
いつでも取り扱い方法を確認できるよう、本書は常にシェル背面の取扱説明書ホルダーに入れて保管しておいてください。

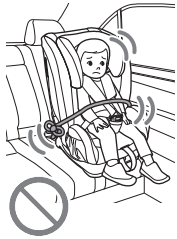
指定外のアクセサリーを追加して使用しないこと
本製品が所定の安全性能を発揮できなくなるおそれがあります。チャイルドシート用、ジュニアシート用、ブースターシート用とされていても、当社指定外の市販のマットやソフトクッションなどを本製品に追加して使用しないでください。

⚠危険

以下に記載する内容を守らなければ、死亡または重傷に至る切迫した事態が生じることを示します。

指定する方法以外での取り付け、固定をしないこと

本製品は、適合する車種、座席の 3 点式シートベルトを使用します。本製品やお子さまの固定のために、ひも、帯状のもの、布、梱包用ベルト、テープなどを使用してはいけません。本製品の固定に ISOFIX 固定装置を使用することはできません。2 点式、4 点式、5 点式のシートベルトも使用することができません。
また、正しく固定した上にこれらのもので補強してもいけません。これらのものが本製品の固定に影響をおよぼしたり、お子さまの首や身体に引っかかる可能性があります。



シートベルト（シートバックル・シートタング）に損傷がある場合は使用しないこと

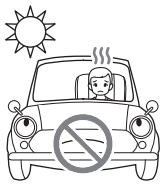
交通事故や急制動の際にシートベルトが切断したりシートバックルが外れたりして、重大な事故につながるおそれがあります。
また、ハーネスモードで使用する場合も同様に、本製品のハーネス／バックルに損傷がある場合には使用しないでください。

指定以外の向きで自動車の座席に取り付け、使用をしないこと

本製品は進行方向に対して前向きの座席に、前向きにして使用します。横向き、後ろ向きなど、本取扱説明書において指示していない向きにしてシートに取り付けてはいけません。

体型が合わない場合は使用しないこと

「使用できるお子さまの条件」に規定された範囲内でも、お子さまが成長してシートベルトの位置が正しく調節できないなど、正しくお子さまを乗せるとシートベルトやハーネスを正しく装着できなくなった場合には所定の安全性能を発揮できませんので、本製品の使用は中止してください。



お子さまを自動車内に放置しないこと

本製品の使用の有無に関わらず、いかなる場合でも、どれだけ短い時間でも、お子さまを自動車の中に放置してはいけません。日差しにより自動車内の温度が高くなり、熱中症・脱水症状になるおそれがあります。また、誤って自動車の操作をしたりハーネスやシートベルトに絡まるなどして、重大な事故につながるおそれがあります。

正しくハーネスやシートベルトを装着すること
ハーネスやシートベルトをねじらないこと

お子さまが装着するハーネスやシートベルト、またハーネスモードの場合は、本製品を自動車の座席に固定するためのシートベルトにねじれがあると本製品が安全に機能しません。本製品を正しく調節して、ハーネスやシートベルトにねじれがないことを確認してしっかりと締め付け、いずれの場合もしっかりとバックルを留めて正しく使用してください。

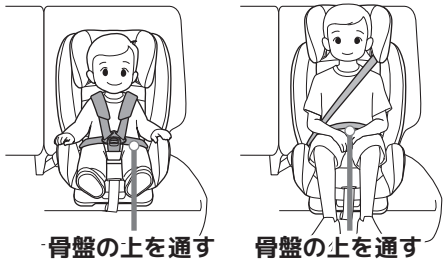
本製品の使用や取り付けに関わるベルト（ハーネス、シートベルト）類は、ゆるみのないようにすること

ハーネス、シートベルトにゆるみがないようにして本製品をご使用ください。

⚠危険

以下に記載する内容を守らなければ、死亡または重傷に至る切迫した事態が生じることを示します。

ハーネス、シートベルトの腰ベルトはお子さまの骨盤の上を通すこと
事故や衝撃を受けた際にお子さまにかかる衝撃を骨盤でしっかりと受け止めるため、ハーネス、シートベルトの腰ベルトはお子さまの骨盤の上を通して適切に締め付けるようにしてください。骨盤の上を通っていないと、内臓の損傷や骨折の危険性が高まります。



骨盤の上を通す　骨盤の上を通す

EPP ／ EPS フォーム（白い衝撃緩衝材）を取り外さないでください
本製品の内部に取付けられている EPP ／ EPS フォームは、本製品の安全性に関わる重要な部品です。絶対に取り外さないでください。

15 ヵ月を超えるまでは本製品を使用しないでください
本製品は身長 76cm 以上のお子さまに適応していますが、生後 15 ヵ月未満のお子さまには使用しないでください。

カバー類を取り外して使用しないこと
カバー類を取り外して使用すると、本製品が所定の安全性能を発揮できません。本取扱説明書で別段の指示がない限り、本製品の部品を取り外した状態で使用しないでください。カバー類、ウレタンも安全に関わる重要な部品です。決して取り外して使用しないでください。また同様に、本製品に縫い付け、または貼られているラベルやシールも本製品の適合する安全基準で規定されている重要な部品ですので、決してはがさないでください。

部品を取り外した状態で使用しないこと
本製品に破損や異常がある場合は使用しないこと
交通事故や急制動の際に本製品が所定の安全性能を発揮できないおそれがあります。また本製品の破損部により思わぬ事故につながるおそれがあります。

本製品にお子さまを乗せた状態で持ち運ばないこと
適切にハーネスを装着した場合でも、お子さまが転落または窒息するリスクは依然として存在します。本製品を持ち上げる、持ち運ぶ、移動させる場合は、お子さまを本製品に乗せずに行ってください。

短距離、短時間の移動でも本製品を使用すること
多くの事故は、短距離、短時間の移動の際に発生しています。たとえ短い距離の移動でも、お車を使用する場合は、お子さまの安全のため本製品を正しく使用してください。

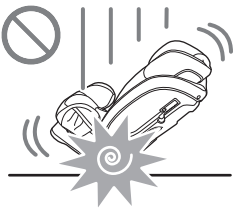
常に正しい状態にして適切に使用すること
本製品を適切に使用ないと、急カーブ、急停止、衝突などの衝撃を受けた際に思わぬ事故につながるおそれがあります。本製品では、使用するモード（ハーネスモード、ブースターモード）により自動車の座席への固定方法が異なりますので、それぞれのモードに応じて正しく適切に固定するようにしてください。
本取扱説明書および本製品の本体に記載されている指示、ならびに本製品を取り付ける自動車の取扱説明書の内容を理解し、その指示に従ってのみ適切に使用することができます。本製品の使用中は、常に本製品が正しい状態になるよう適宜確認してください。

⚠警告

以下に記載する内容を守らなければ、死亡または重傷に至る可能性があります。

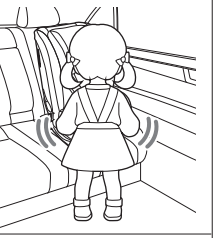
強い衝撃を受けた場合、損傷した場合、部品が欠落した場合は使用を中止すること

交通事故にあった、落下させた、車のドアで強くはさんだなど、一度でも強い衝撃を受けた場合は絶対に使用しないでください。また、本製品の部品が不足または紛失している場合には、使用を中止してください。目には見えない損傷や部品の欠落の影響によって本製品が安全に機能しなくなっている可能性があります。このような場合は、保証の対象外となり、また安全性が担保できないため、修理もできませんので、新しい製品をご購入いただく必要があります。



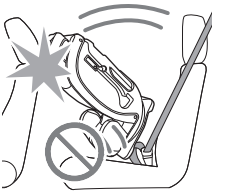
走行前には本製品の状態を確認すること

お子さまや他の乗員などが本製品に触れたり、座席を操作したりするなどして本製品の固定状態が変化しているおそれがあります。走行前には、必ず本製品が適切な状態にあるかどうかを確認してください。本製品を誤った状態で使用すると、お子さまばかりか、他の乗員の方にも危険がおよぶおそれがあります。



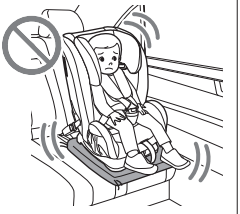
使用しない場合でも、車室内では本製品を必ず固定しておくこと

本製品を自動車の座席に固定せず使用すると、通常走行時や交通事故、急制動の際に本製品が移動し、運転操作を妨げたり、他の同乗者に接触する可能性があります。自動車に本製品を乗せる際には、シートベルトで自動車の座席に固定するか車外に出すなどして、自動車の運転中に本製品が車室内で移動しないようにしておいてください。



本製品の下にクッションや敷物などを敷かないこと

本製品と座席の間に、座布団やクッションなどの敷物を置かないでください。本製品が所定の安全性能を発揮できなくなるおそれがあります。
本製品は、正しく使用することにより自動車の座席にくぼみや傷が生じ、取り付け痕が残る可能性がありますが、本製品を安全に機能させるために生じるものですので、あらかじめご了承ください。

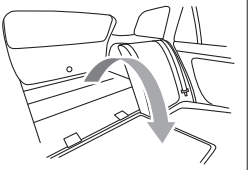


走行中は、本製品を操作しないこと

自動車の走行中は、本製品を操作してはいけません。お子さまの状態の確認でも、走行中には操作しないでください。走行中に異常を発見したり、お子さまの状態に不安が生じたりした際は、速やかに自動車を安全な場所に停めてから、確認、操作を行ってください。

可倒式座席の場合、確実に背もたれを固定すること

自動車の可倒式座席（トランクスペースを広く使えるよう、座席の背もたれを前に倒すことができる座席／トランクスルー）で本製品を使用する場合、背もたれを確実に立てて固定してください。背もたれが確実に固定されていないと、使用中に突然背もたれが倒れて思わぬ事故につながるおそれがあります。

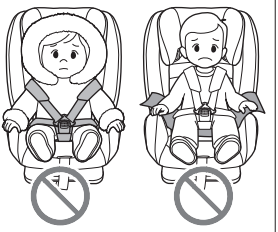


⚠警告

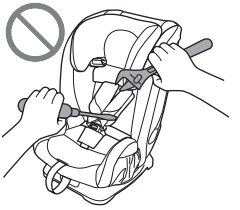
以下に記載する内容を守らなければ、死亡または重傷に至る可能性があります。

バックルが正しく留まっているか適宜確認すること
お子さまがバックルに触れると、バックルが解離してシートベルトが外れるおそれがあります。お子さまには、ハーネスモードの場合は本製品のバックルに、またブースターモードの場合にはシートバックルに、それぞれ触れないように言い聞かせ、適宜バックルが正しく留まっていることを確認してください。

不適切な着衣で使用しないこと
お子さまを正しく固定できず、お子さまが落下したり、飛び出したりするおそれがあります。ケープや毛布など衣服ではないもの、また、おくるみなど、腕や足が出ない（ハーネスやシートベルトを正しく装着できない）構造の衣服、サイズの大きすぎる衣服などを着せて本製品を使用しないでください。また、ダウンジャケットなど、厚着をしている場合には、お子さまが確実にハーネスやシートベルトを装着できるよう、本製品を正しく調節してください。
また、事故や衝撃を受けた際に、お子さまが滑りやすくなりますので、毛布や座布団などの敷物をお子さまの下に敷かないでください。



本製品を分解したり改造したり、指定外の部品を取り付けて使用しないこと
本製品が所定の安全性能を発揮できなくなるおそれがあります。本製品の分解、改造をしてはいけません。指定外や他社製の部品・製品は使わないでください。型式承認機関の承認を得ずに、本製品を改造、改善、修繕を行うことはできません。



本製品が所定の安全性能を発揮できなくなるおそれがあります
本書、本製品本体で指示されている荷重保持接点（シートベルトの通し位置や経由点など）以外を使用しないでください。

指定外のアクセサリーを追加して使用しないこと
本製品が所定の安全性能を発揮できなくなるおそれがあります。チャイルドシート用、ジュニアシート用とされていても、当社指定外の市販のマットやソフトクッション、パッドなどを本製品に追加して使用しないでください。
また、3 点式シートベルトが安全に機能しなくなるおそれがありますので、シートベルトの長さを調節する器具や、肩ベルト、腰ベルト用のパッドなどの市販のアフターマーケット品をシートベルトに取り付けてはいけません。

過度の負担を掛けないこと
本製品が損傷し、所定の安全性能を発揮できなくなるおそれがあります。本製品に、重いものを載せたり、自動車のドアや座席のリクライニングで強く挟むと、損傷し安全性能が低下する可能性があります。 本製品が強い衝撃を受けたり損傷があった場合は、使用を控えてください。

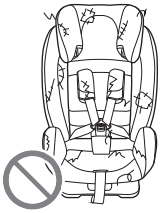
⚠警告

以下に記載する内容を守らなければ、死亡または重傷に至る可能性があります。

中古品や劣化した本製品を使用しないこと

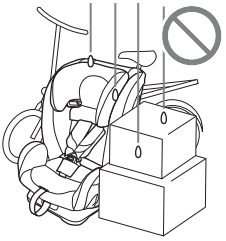
中古品は、その過去の使用履歴や保管環境、使用状況が十分に把握できない場合が多く、視認できない損傷や経年劣化が存在する可能性があります。 劣化した本製品は強度等が劣る可能性があり、本製品が安全に機能しないおそれがありますので使用しないでください。

安全のため、使用しなくなった本製品は、再利用されないよう配慮いただき、廃棄するようお願いいたします。



目的外で本製品を使用しないこと

本製品は、自動車内で使用するチャイルドシート、ブースターシートとしてのみ使用することができます。椅子やベッド、ベビーキャリーとして使用するなど、本来の目的以外で使用すると、お子さまが落下するなどして重大な事故につながるおそれがあります。

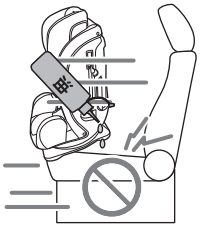


不適切な保管をしないこと

部品の劣化や故障を防ぐため、屋外や直射日光、高温、多湿、ホコリの多い場所での保管は避けてください。 また、このような状態で長期間保管した本製品を使用してはいけません。

いかなる場合でも注油しないこと

本製品が安全に機能しなくなるおそれがあります。お手入れや操作をスムーズにするためなどの目的であっても、絶対に**本製品やシートベルトバックルに注油してはいけません。**

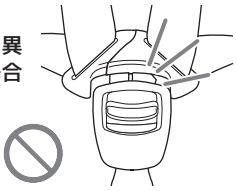


お子さまを乗せたままチャイルドシートを持ち上げないこと

お子さまがチャイルドシートから落下したり本製品が落下したりするなどして、思わぬ事故につながるおそれがありますので、たとえハーネスでお子さまが正しく固定されていたとしてもお子さまを乗せたままチャイルドシートを持ち上げたり、持ち運んだりしないでください。

バックルに異常が生じた場合は本製品を使用しないこと

バックルが正しく留まらないなど、バックル、ハーネスに異常があり、お子さまを正しく締め付けることができない場合は、ただちに使用を中止してください。

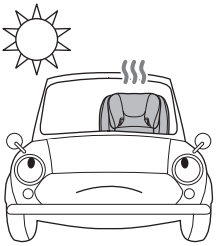


⚠注意

以下に記載する内容を守らなければ、軽傷または中程度の傷害を負ったり、本製品またはその他の物品に損害をあたえたりすることがあり得ることを示します。

本製品のハーネスやバックルの挟み込みに注意すること
本製品のハーネスやバックルを車の座席やドアに挟み込んだり、引っ掛けたりしないように注意してください。

車内の物品は固定しておくこと
急制動などの際に、チャイルドシートを使用しているお子さまのみならず他の同乗者にあたるなどしてケガを負うおそれがありますので、自動車内にある動く物品は適切に固定するようにしてください。

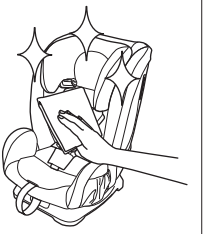


部品の過熱に注意すること
ヤケドを負うおそれがありますので、本製品の金属部品や樹脂部品が、日光により過度に加熱していないかを確認してから、お子さまを乗せてください。また、本製品を操作する方も、温度を確認してから操作するようにしてください。野外に駐車する際には、日陰に駐車したり本製品に覆いをしたりするなどして加熱を防ぐようにしてください。

ハーネスなどベース、シート以外の部分を持って本製品を持ち上げないこと
本製品を持ち上げる際にハーネスや生地部分だけを持つなどして持ち上げないでください。本製品が破損、落下するおそれがあります。

バックルやハーネスを自動車のドアやシートに挟まないよう注意すること
本製品のバックルやハーネスを自動車のドアやシートで挟まないように注意してください。バックルにほこりやゴミが付着または侵入するのを防ぐため、お子さまが乗っていない場合でもバックルを留めておくようにしてください。

適切な方法でお手入れすること
チャイルドシートが安全に機能しなくなるおそれがありますので、お手入れやメインテナンスの際に潤滑油を使用してはいけません（特に稼働部、接合部）。本製品のお手入れは、本取扱説明書の指示に従っておこなうようにしてください。



トランクでの保管に注意すること
本製品の破損につながるおそれがあります。本製品を自動車のトランクで保管する場合は、上に他の物を載せないようにしてください。

長時間連続して使用しないこと
お子さまを長時間にわたり同じ姿勢で固定すると、お子さまにストレスや疲労をあたえる可能性があります。より快適にご使用いただくため、適宜、お子さまを本製品から降ろして、お子さまが自由に動けるようにしてあげてください。
また、安全運転のためにもなりますので、最低でも 1 時間に 1 度は休憩をとるようにしてください。

⚠注意

以下に記載する内容を守らなければ、軽傷または中程度の傷害を負ったり、本製品またはその他の物品に損害をあたえたりすることがあり得ることを示します。

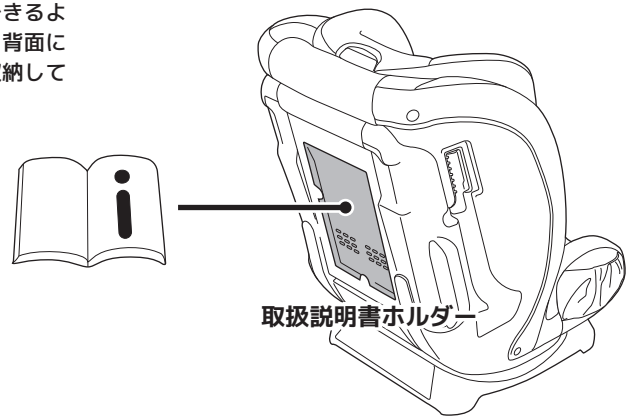
長期間使用しない場合は、本製品を自動車から取り出すこと
自動車内の環境により、樹脂部品などの劣化が進むおそれがあります。

疑問点がある場合は、販売店、チャイルドシートメーカーに問い合わせください
補修やお手入れ、メインテナンスについて疑問がある場合は、本製品をお買い求めになった販売店または巻末に記載のお客様サービスにお問い合わせください。

重要

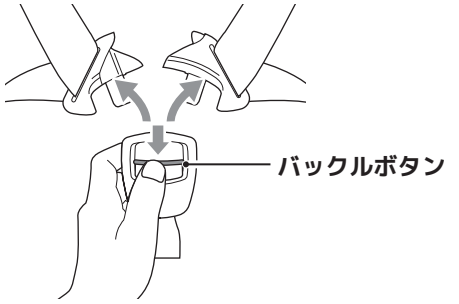
本書は本製品の所定の場所に収納して常時携行すること

必要なときにいつでも参照できるように、本書は本製品のシート背面にある取扱説明書ホルダーに収納しておいてください。



緊急時の操作

交通事故などの緊急時には、ハーネスモードの場合は本製品のバックルボタンを押し下げてハーネスを外し、ブースターモードの場合は自動車のシートベルトのバックルを外して、速やかにお子さまを自動車外に脱出させてください。お子さまの脱出の際にハーネスや自動車のシートベルトにお子さまが絡まないように注意してください。
その上で直ちにお子さまの応急処置を行い、医師の診断を受けるようにしてください。
バックルボタン、シートベルトのバックルが機能しない場合は市販のシートベルトカッターなどを使用してハーネスまたはシートベルトを切断してお子さまを車外に脱出させてください。



基本的な使いかた

バックルの使いかた

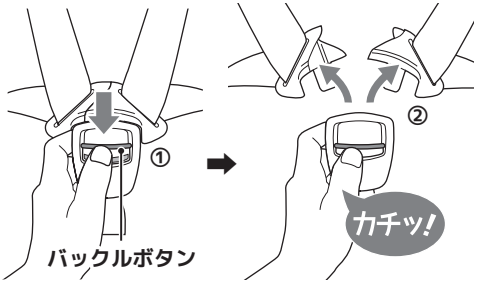
ハーネスモードでは、本製品を 3 点式シートベルトで固定し、お子さまは本製品のハーネスを装着します。

> ☞ポイント!
> **ブースターモードでは、本製品のハーネスを本体内に格納して、お子さまは 3 点式シートベルトを装着します。**

バックルの外しかた

01

バックルを外すには、バックルを握って①バックルボタンを押し下げます。②「カチッ」と音がして、差込みタングが外れます。



⚠注意

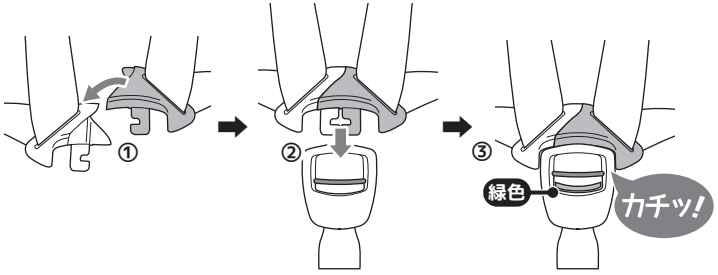
バックルは握って操作してください

直接バックルボタンを押下すると、お子さまの腹部を圧迫するおそれがあります。お子さまに負担のないようにバックルを握って操作してください。あからじめハーネスをゆるめて操作すると、よりお子さまへの負担を減らすことができます。

バックルの留めかた

01

①左の差込みタングの上に右の差込みタングを重ねます。肩ベルトをねじらないようにしてください。②そのまま差込みタングを受けバックルに差し込みます。カチッと音がするまで差し込みます。③バックルボタンの下部に緑色のインジケーターが表示されたことを確認してください。



⚠危険

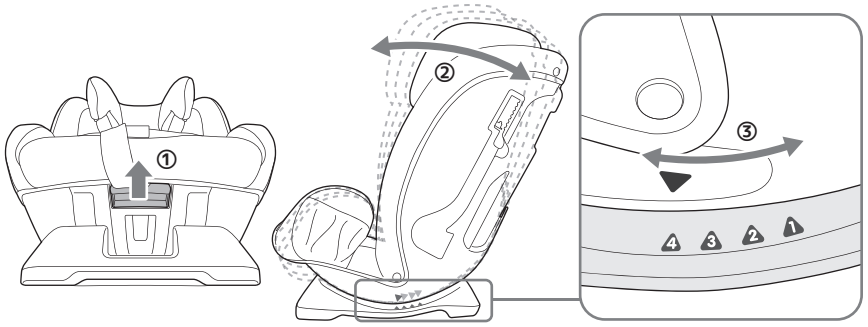
必ずバックルの状態を確認すること
差込みタングが受けバックルにしっかりと差し込まれ、緑色のインジケーターが表示されていることを確認してください。お子さまが操作されてバックルが外れたりすることもありますので、本製品の使用中は適宜バックルの状態を確認してください。差込みタングを受けバックルに差し込んでも緑色のインジケーターが表示されない場合は、ご使用にならないでください。

リクライニングの使いかた

4 段階のリクライニングを切り替えることにより、シートの背もたれの角度を変更することができます。ハーネスモード、ブースターモードとも 4 段階すべて使用することができます。

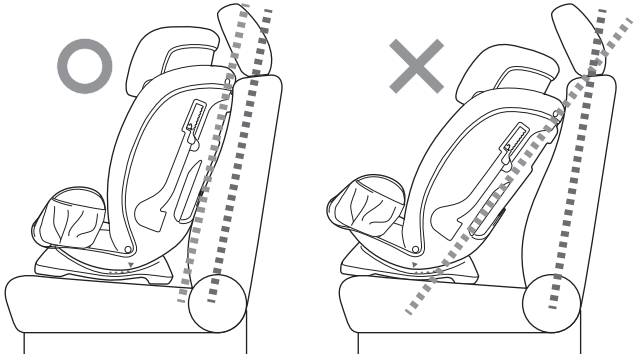
01

本製品前端部の①リクライニングレバーを引き上げて、②シートの背もたれ角度を調節してください。リクライニングは、ハーネスモード、ブースターモードとも、4 段階で調節することができます。目的の角度でリクライニングレバーから手を放すとシートの背もたれが固定されます。リクライニングの角度は、③本製品側面の▼のマークで確認することができます。



02

本製品のリクライニングは、自動車のシート背もたれの角度と、本製品のシートの背もたれ部分との角度を合わせるために使用します。
シート背もたれと、本製品のシート背面の角度が一致するように、本製品のリクライニングまたはシート背もたれの角度を調節してください。



☞**ポイント!**
特に、ブースターモードの場合は、本製品のシートの背もたれと、シート背もたれの角度を可能な限り一致させるようにしてください。

肩ベルト（ハーネス）の長さ調節

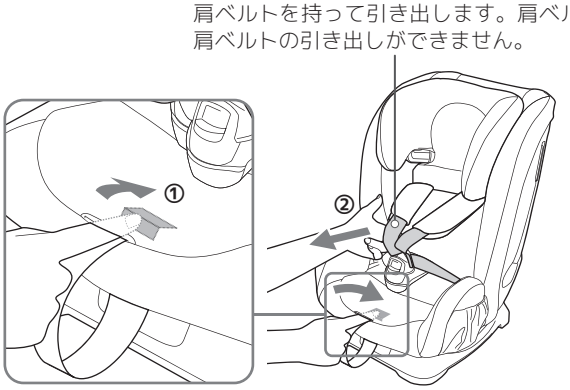
ハーネスモードで使用する場合は、お子さまの体格や月齢、着衣の状態に応じて肩ベルト（ハーネス）の長さを調節します。

⚠危険

肩ベルト（ハーネス）の長さは適切に調節すること
肩ベルト（ハーネス）は必ず適切な長さに調節してください。肩ベルトが締められすぎていたり、ゆるんでいたりすると、事故や衝撃の際に、お子さまが本製品から飛び出したり肩ベルトが首に絡まるなどして思わぬ事故につながるおそれがあります。

01

肩ベルトをゆるめるには、①シートの前端のベルトアジャスター（穴の中にありますので外側からは目視できません）を押し込みながら、②肩ベルトを持って、ゆっくりと手前に引き出します。肩ベルトパッドを持つと、肩ベルトの引き出しができませんのでご注意ください。



ベルトアジャスターは、アジャストベルトの通し穴の中にあります。外側からは見えません。

02
アジャストベルトを手前に引くと、肩ベルトが締まります。

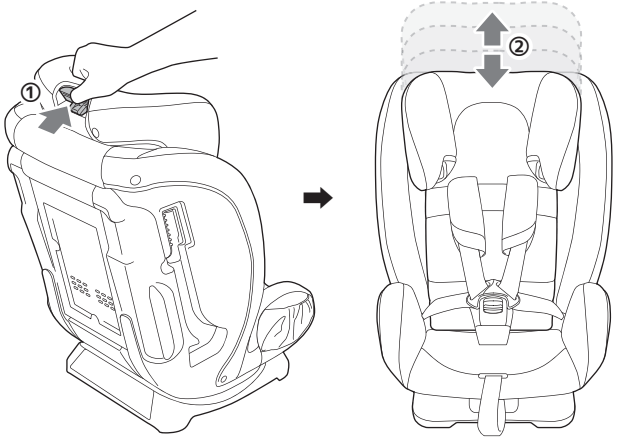
⚠注意

アジャストベルトはゆっくりと引いてください。
勢いよく強くアジャストベルトを引くと、お子さまに過剰な負担がかかるおそれがあります。ハーネスが締まりすぎると、お子さまに負担が掛かります。肩ベルトは、お子さまとの間に大人の方の手のひらを差し込める程度に締め付けてください。

ヘッドサポート・肩ベルトの高さ調節

ヘッドサポートと肩ベルトの高さ調節は連動しています。
ヘッドサポートの高さを調節すると、自動的に肩ベルトの高さも調節されます。
本製品のハーネス（ハーネスモード）を使用する場合はハーネスの肩ベルトの高さを調節します。ブースターモードで使用する場合は自動車のシートベルトの肩ベルトを通す肩ベルトガイドの高さを調節しますが、いずれの高さの調節も操作方法は同様です。
お子さまの成長に合わせて、ヘッドサポートと肩ベルトの高さを適切に調節してください。

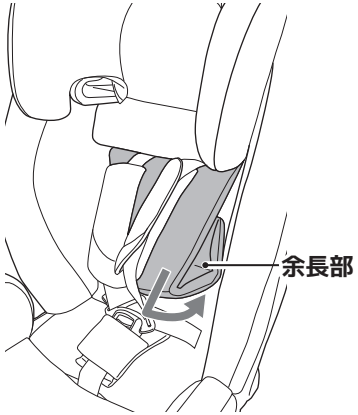
01
ハーネスモードの場合は、あらかじめハーネスを緩めておきます。ヘッドサポートは９段階で高さの調節ができます。①ヘッドサポートアジャストレバーを握り、②ヘッドサポートを上下に動かしてヘッドサポートの高さを調節します。目的の高さでヘッドサポートアジャストレバーから手を離すとその高さでヘッドサポートが固定されます。



☞**ポイント!**
ハーネスが最も短い状態に調節されていると、ヘッドサポートが上方向に動かしにくくなります。この場合はハーネスをゆるめてください。

参照 P23 ▶**肩ベルト（ハーネス）の長さ調節**▶ 01

02
ヘッドサポートを低く調節した場合、ヘッドサポート下部の背もたれ部分の余長部は、内側に折りたたんでおいてください。



03
ヘッドサポートを軽く動かして、しっかりと固定されていることを確認してください。

ハーネスモードでの使用

使用可能なお子さまの条件と使用方法

使用する向き	**進行方向に対して前向き**
取り付け方法	**3点式シートベルト**
お子さまの装着	**本製品のハーネス**
適応身長	**76cm-105cm**
適応体重	**体重22kg以下**
月齢・年齢	**生後15ヵ月※1を超えてから4歳頃※2まで**
リクライニング	**1 ~4が使用可能**

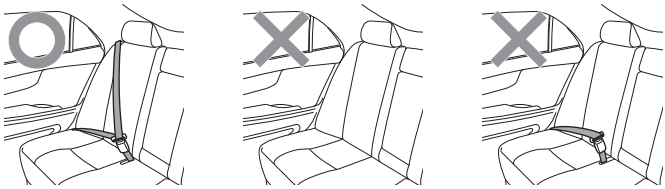
※ 1 他の条件が適していたとしても、お子さまが生後 15 ヵ月を超えるまでは本製品を使用しないでください。

※ 2 使用終期の年齢は目安です。適応身長、適応体重を超えた場合は使用を中止してください。

ハーネスモードでは、先に本製品を自動車の座席に取り付けてから、お子さまを乗せます。

取り付けかた

本製品は、3 点式シートベルトで自動車の座席に固定します。2 点式、4 点式、5 点式など、その他のシートベルトでは取り付け、使用することはできません。



⚠危険

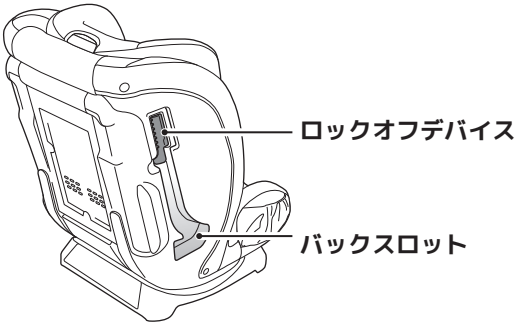
3 点式シートベルトを正しく使用すること
本製品は、ブースターモードでも 3 点式シートベルトを使用しますが、ハーネスモードとブースターモードではシートベルトを通す位置が異なります。誤った取り付けを行うと、大変に危険です。自動車の座席に固定する前に、シートベルトを通す位置をあらかじめ確認しておいてください。

あらかじめヘッドサポートを適切な高さに調節すること
本製品を自動車の座席に固定する前に、お子さまを本製品に乗せて、あらかじめヘッドサポートを適切な高さに調節しておいてください。

シート腰ベルト、シート肩ベルトにねじれがないこと
本製品を自動車の座席に固定する際に、シートベルトにねじれがないこと、シートベルトが適切に固定できる状態であることを確認してください。

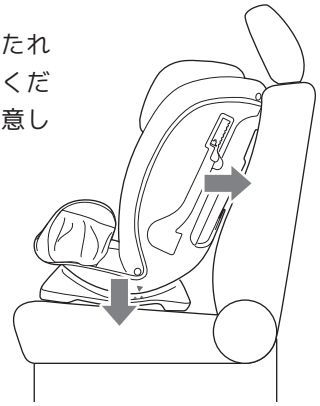
☞**ポイント!**

ハーネスモードでは、3 点式シートベルト（腰ベルト・肩ベルト）を本製品のバックスロットを通し、シートベルトの取り出し口側の肩ベルトをロックオフデバイスで固定します。



01

本製品を自動車の座席の上に置きます。本製品がシート背もたれとシート座席に接するようにして、座席の左右中央に置いてください。シートベルトやその他のものの上に置かないように注意してください。

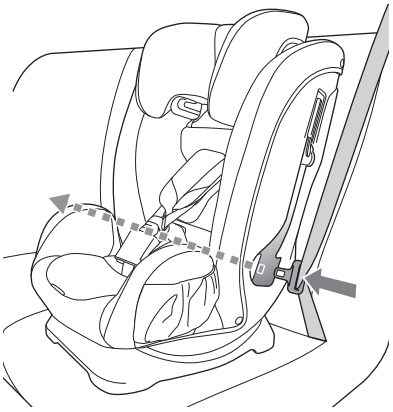


☞**ポイント!**

以下の説明では、本製品を右ハンドル車の助手席後ろの座席（自動車の進行方向に向かって左側の後部座席）に取り付ける場合を図示しています。右側の後部座席に取り付ける場合、図示とは左右を逆にして操作してください。

本製品のリクライニングまたはシート背もたれの角度を調節して、シート背もたれと、本製品のシート背面の角度が一致するようにしてください。

参照 P22-23 ▶リクライニングの使いかた

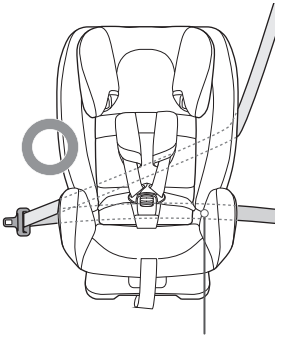


02

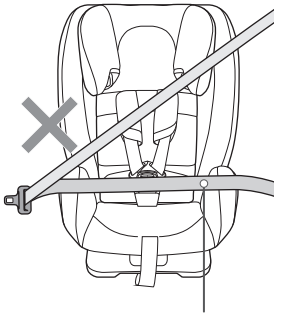
シートベルトをゆるめて、シートタングをバックスロットに差し入れ、反対側のバックスロットから抜き出します。シートベルトをねじらないように注意してください。

☞**ポイント!**

シートタング、シートベルトが中を通っていることを確認してください。外側に出ている場合は、シートタングを抜いてもう一度やりなおしてください。



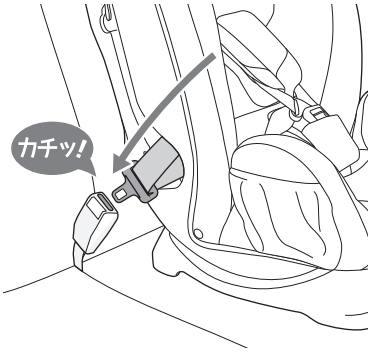
シートベルトがシートの中を通っている



シートベルトが外側に出ている

03

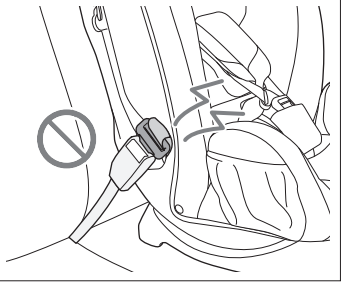
シートベルトにねじれがない事を確認して、シートタングをシートバックルに「カチッ」と音がするまでしっかりと差し込んで留めます。



⚠危険

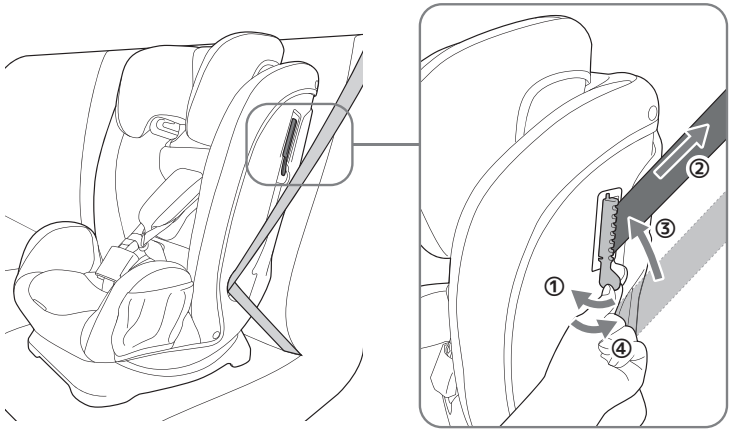
シートバックルが干渉する座席では使用しないこと

シートバックルのベルトが長すぎる、シートバックルの位置が前方すぎるなどして、バックスロットにシートバックルが干渉する場合、安定して本製品を固定することができませんので、その座席では使用しないでください。



04

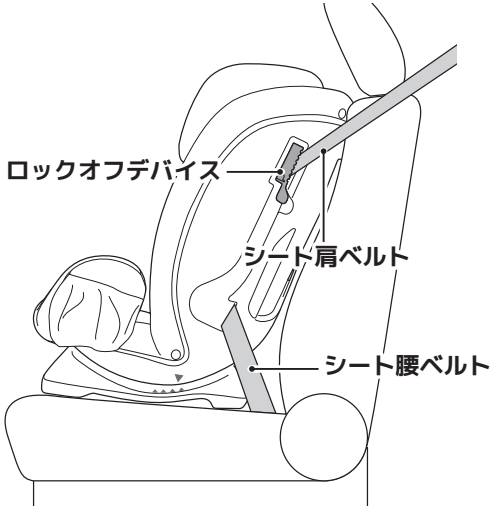
シートベルトの取り出し口側（シートバックルの反対側）の、①ロックオフデバイスを開いて、②肩ベルトを引いて、③しっかり奥まで通し、④ロックオフデバイスを閉じます。ロックオフデバイスはバネで開閉しますので、ロックオフデバイスから手を離すと自動的に肩ベルトを挟んだ状態で閉じます。



☞**ポイント!**
ロックオフデバイスには肩ベルトのみを通します。腰ベルトは通さないでください。

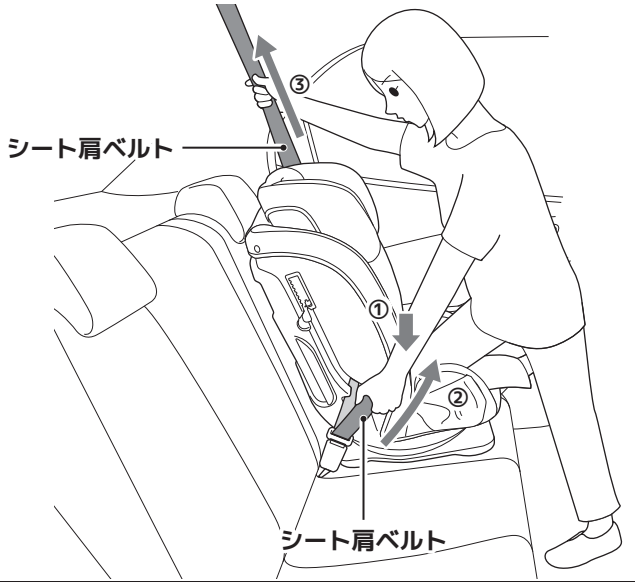
05

下図のような状態になっていることを確認してください。



06

本製品を、①強くシート座面に（下方向に）押しつけながら、肩ベルトを引いて締めてください。肩ベルトは②→③の順で締めます。②のみを締めても本製品を強く固定できません。②を締めたら、続けて③を締めてください。できる限り強く締めるようにします。



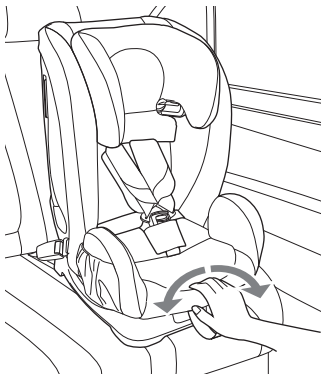
☞ポイント!

腰ベルトを引いたり、肩ベルトと腰ベルトを両方つかまないように注意してください。肩ベルトのみを引き締めます。

自動車の座席が前後に動かせる場合、座席の構造によっては、本製品を取り付けた後で座席を前方に動かすと本製品の締め付けがより強くできる場合があります。
逆に、後方に動かすと、本製品の取り付けがゆるみますので、絶対に後方には動かさないでください。前後に関わらず、座席を動かした場合は必ず本製品の取り付け状態を確認してください。

07

本製品がグラグラせず、しっかりと固定されていることを確認してください。グラグラする場合は、もう一度取り付けなおしてください。



⚠危険

しっかりと固定すること
本製品の取り付けがゆるいと、事故や衝撃を受けた際に本製品が所定の安全性能を発揮できないおそれがあります。

⚠警告

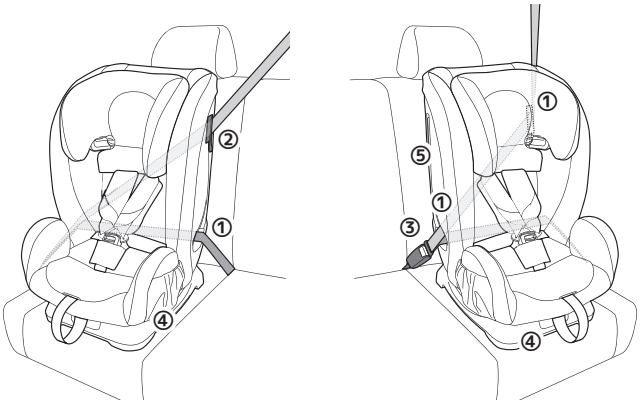
リクライニング操作、座席の移動操作に注意すること
取り付けがゆるむおそれがあります。本製品を取り付けた後で、自動車の座席のリクライニング操作をしたり、座席を移動させたりした場合は、必ず本製品の取り付け状態を確認してください。

08

最後に、次のチェックリストを確認してください。
適切でない部分があれば、本書の指示に従い適切な状態に修正してから使用してください。

Check!

① シートベルトがバックスロットを通っていること。
② 肩ベルト（シートベルト）がロックオフデバイスを通り、ロックオフデバイスが閉じられていること。
③ シートベルトのバックルがしっかりと固定されていること。
肩ベルト、腰ベルトにねじれ、ゆるみがないこと。
④ 本製品がグラグラせず、しっかりと座席に固定されていること。
⑤ 本製品のシート背面と、シート背もたれの角度が近い状態になっていること。



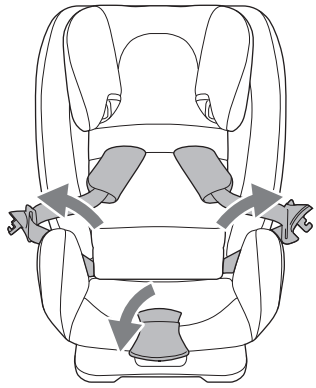
09

取り外しは逆の手順で行います。取り外した本製品はそのまま車室内に置かず、車外に出して保管してください。

お子さまの乗せかた

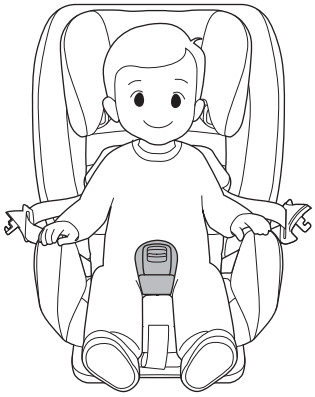
01

バックルを外して、ハーネスの肩ベルトを外に出し、股ベルトを前方に倒しておきます。



02

お子さまを楽な姿勢にして本製品に座らせます。背筋を伸ばして、股ベルト（受けバックル）を両足の間に入れます。



☞**ポイント!**

お子さまは楽な姿勢で座らせてください。座りかたが、浅すぎたり、深すぎたりしないようにご注意ください。

楽な姿勢　**浅すぎる**　**深すぎる**

⚠危険

お子さまを正しい姿勢で乗せること

誤った姿勢で乗っているとお子さまを正しく固定できず事故や急制動の際に、お子さまが本製品から飛び出すなどして思わぬ事故につながるおそれがあります。必ずお子さまを正しい姿勢で本製品に乗せてください。

03

ハーネスが十分にゆるんでいることを確認します。

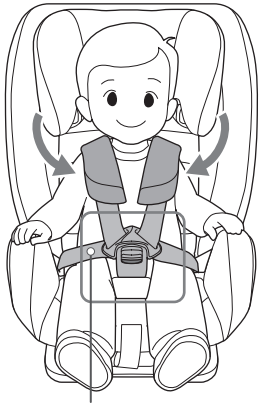
肩ベルトにお子さまの腕を通します。

肩ベルト、腰ベルト、股ベルトにねじれがないことを確認して肩ベルト（肩ベルトパッド）をお子さまの肩の部分に通し、腰ベルトがお子さまの骨盤の上を通るようにしてバックルを留めます。

⚠危険

ハーネスをねじらないようにすること

ハーネスにねじれがあると本製品が所定の安全性能を発揮できなくなるおそれがあります。バックルを留める際には肩ベルト、腰ベルト、股ベルトにねじれがないことを確認してください。

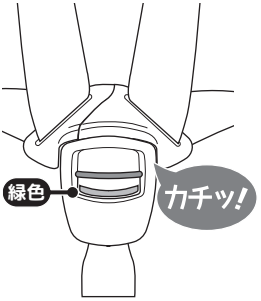


骨盤の上を通す

04

バックルが「カチッ」と音がして固定されていること、バックルボタンの下部に緑色のインジケーターが表示されていることを確認してください。

参照 P21-22 ▶バックルの使いかた



緑色のインジケーター

ポイント!

ハーネスがきつい場合は無理にバックルを留めず、ハーネスをゆるめてからバックルを留めます。

参照 P23 ▶肩ベルト（ハーネス）の長さ調節▶ 01

⚠危険

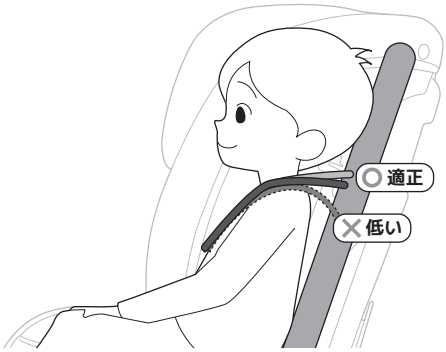
必ずバックルの状態を確認すること

差込みタングが受けバックルにしっかりと差し込まれ、緑色のインジケーターが表示されていることを確認してください。お子さまが操作されてバックルが外れたりすることもありますので、本製品の使用中は適宜バックルの状態を確認してください。差込みタングを受けバックルに差し込んでも緑色のインジケーターが表示されない場合は、ご使用にならないでください。

05

ヘッドサポートは９段階で高さを調節することができます。肩ベルトがお子さまの肩と水平、または少し上になる位置に調節してください。お子さまの肩の高さよりも低い位置や高すぎる位置の場合、お子さまがハーネスから抜けるおそれがあります。

参照 P24-25 ▶ヘッドサポート・肩ベルトの高さ調節



⚠危険

肩ベルトの高さは適切に調節すること

肩ベルトの高さは必ず適切な高さに調節してください。肩ベルトの高さが適切でないと、事故や衝撃を受けた際にお子さまが本製品から飛び出したり、肩ベルトがお子さまの首に絡まるなどして重大な事故につながるおそれがあります。

⚠注意

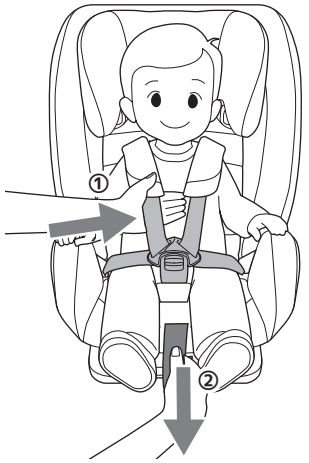
やさしく、ゆっくりと操作すること

肩ベルトの高さ調節はお子さまの負担にならないように、やさしくゆっくりと操作してください。

☞**ポイント!**
肩ベルトの高さは毎回調節する必要はありませんが、適切な高さになっているかを使用ごとに確認するようにしてください。肩ベルトの高さは、お子さまの成長に合わせて適宜適切に調節してください。

06

肩ベルトを適切な高さに調節したら、肩ベルトとお子さまの間に、①片手の掌を差し込んで、②別の手でアジャストベルトをゆっくりと引いて締めつけます。
差し込んだ掌が肩ベルトとお子さまの身体の間に挟まれるまで締め付けるようにします。



☞**ポイント!**
締め付けすぎた場合はベルトアジャスターを使って肩ベルトをゆるめてから締めなおしてください。

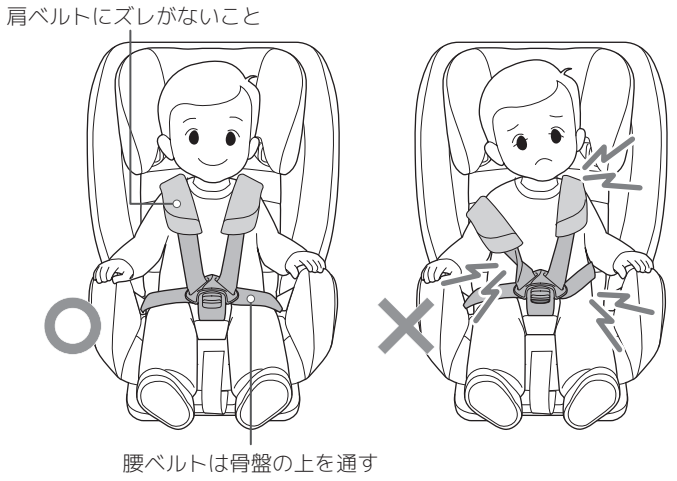
参照 P23 ▶肩ベルト（ハーネス）の長さ調節▶ 01

⚠危険

アジャストベルトは慎重にゆっくりと操作すること
肩ベルトが強く締まりすぎるおそれがありますのでアジャストベルトを勢いよく引っ張らないでください。
強く肩ベルトが締まるほどお子さまの保護は強くなりますが、強く締めすぎるとお子さまが苦しくなってしまいます。締めつけがゆるすぎると使用中にお子さまが本製品から落下したり、衝撃を受けた際にお子さまが飛び出したりするおそれがあります。必ず適切な強さで締め付けるようにしてください。

07

ハーネスが正しい状態になっていることを確認してください。
ハーネスにねじれがなく、肩ベルトの高さが適切に調節されていて、肩ベルトパッドがお子さまの肩を通り、腰ベルトがお子さまの骨盤の位置を通るよう必ず確認し、正しくなるように調節してください。



⚠危険

ハーネスは正しい状態で使用すること
ハーネスは必ず正しい状態で装着してください。ハーネスがゆるんでいたり、ねじれていたり、肩ベルトが腕の位置や頸部を圧迫する位置を通っていたり、腰ベルトがお子さまの腹部や大腿部の位置を通っていたりすると、事故や衝撃を受けた際に思わぬ事故につながるおそれがあるばかりか、通常の使用時においてもお子さまに危険がおよぶおそれがあります。ハーネスは必ず正しい状態にして、使用中もハーネスがずれたり、ゆるんだりしていないか適宜確認するようにしてください。

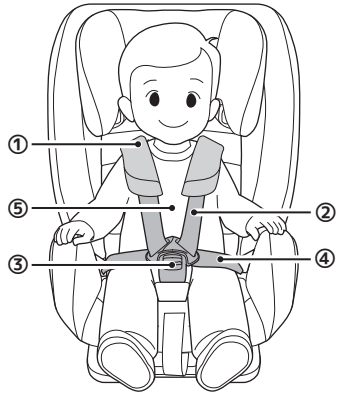
08

以下のチェックリストを確認して、正しい状態になっているか確認してください。正しい状態になっていない部分がある場合は、正しい状態にしてから本製品を使用してください。

Check!

① **肩ベルトの高さが適切に調節されていること。**
② **ハーネスが適切に締め付けられていること。**
肩ベルト、腰ベルト、股ベルトにねじれがないこと。
③ **バックルがしっかりと留まっていること。**
④ **腰ベルトがお子さまの骨盤の上を通っていること。**
⑤ **お子さまが正しい姿勢で座っていること。**

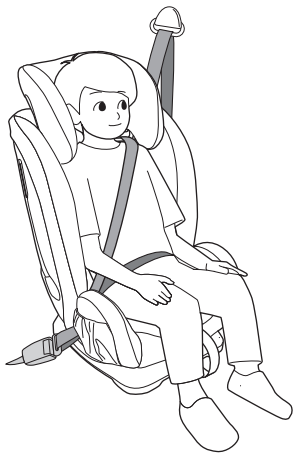
☞**ポイント!**
本製品のバックルは、お子さまには外しにくいように設計されていますが、安全のためお子さまにはバックルに触れないように言い聞かせるようにしてください。



09

お子さまを降ろす場合は、バックル（ハーネス）を外してお子さまの腕を抜き、ハーネスに引っ掛かったりしないよう注意して、ゆっくりとお子さまを降ろしてください。

ブースターモードでの使用



使用可能なお子さまの条件と使用方法

使用する向き	進行方向に対して前向き
取り付け方法	3点式シートベルト
お子さまの装着	3点式シートベルト
適応身長	100cm-145cm
適応体重	体重36kg以下
月齢・年齢	3.5歳頃から12歳頃まで※
リクライニング	1 ~4が使用可能

※月齢・年齢は目安です。

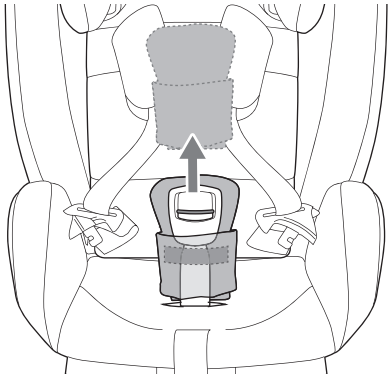
ブースターモードでは、本製品のハーネス、バックル、股ベルトを本体内に格納して使用します。本製品を自動車の座席に置き、お子さまを乗せて自動車の３点式シートベルトを装着します。

☞**ポイント!**
ハーネスモードとは異なり、本製品単体では自動車の座席に固定されません。このため、お子さまが使用しない場合は、本製品は車室内に置かずに車外に出して保管するか、または本製品が自動車の使用中に移動しないように適切な方法で固定しておいてください。

ブースターモードへの切り替えかた

01

バックルを外して、股ベルトパッドを抜き取ります。股ベルト（受けバックル）は、股ベルトパッドの内側のゴムバンドを通して固定されています。ゴムバンドから股ベルトを抜くようにして股ベルトパッドを取り外してください。

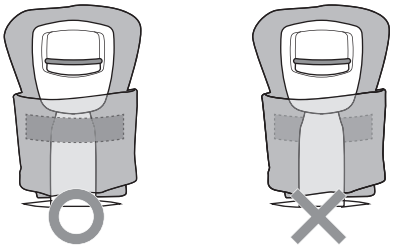


⚠注意

股ベルトパッドを大切に保管してください
ブースターモードでは股ベルトパッドは使用しません。取り外した股ベルトパッドはお子さまの手の届かない場所で大切に保管してください。

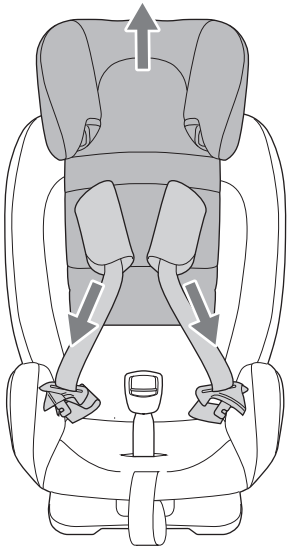
☞**ポイント!**

股ベルトパッドを取り付けなおす際には、股ベルト（受けバックル）を股ベルトパッドの内側のゴムバンドを通すようにしてください。ゴムバンドに通っていないと使用中に股ベルトパッドが抜け落ちるおそれがあります。



02

ハーネスをゆるめて、ヘッドサポートを最も高い位置に調節しておきます。



参照 P23 ▶肩ベルト（ハーネス）の長さ調節▶ 01

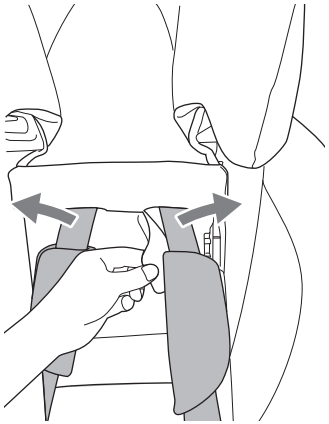
参照 P24 ▶ヘッドサポート・肩ベルトの高さ調節▶ 01

☞**ポイント!**

ハーネス（肩ベルトパッド）と差込みタングを、肩ベルトコンパートメントに収納する際（以下 05 ～ 06）、ハーネスを適当な長さに調節してください。
ハーネスが短すぎるとハーネス（肩ベルトパッド）と差込みタングを正しく収納できず、長すぎるとハーネスの余長部が干渉するおそれがあります。実際にご使用になるヘッドサポートの高さに応じて、ハーネスの長さも適切に調節してください。

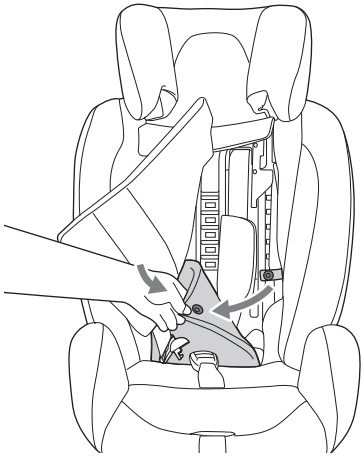
03

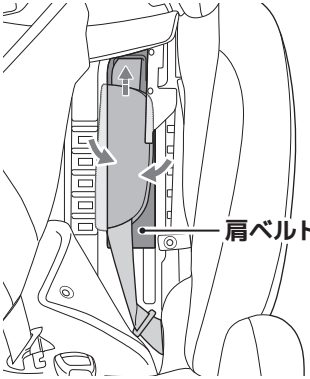
肩ベルト（ハーネス）をヘッドサポート下部の隙間（肩ベルトが通されている部分）から外側に抜いて外します。左右とも同じようにしてください。



04

本製品の背もたれの上下中央あたりに留められているホックボタン（左右）を外します。左右とも同じようにしてください。





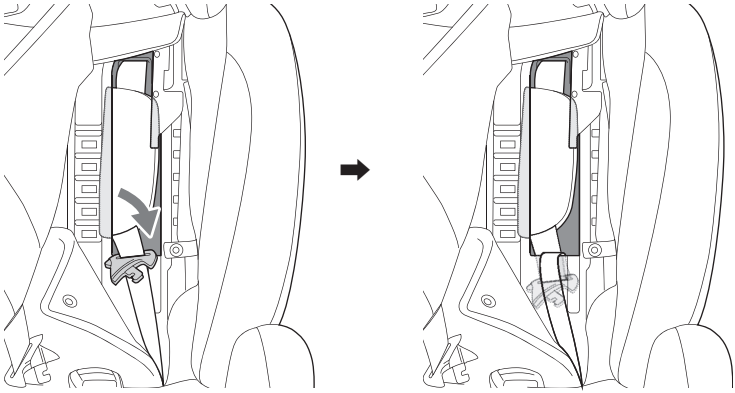
05

左右の肩ベルトパッド（肩ベルト）を、①肩ベルトコンパートメントに押し込み、②肩ベルトパッドを上の方にずらしておきます。

左右とも同じようにしてください。

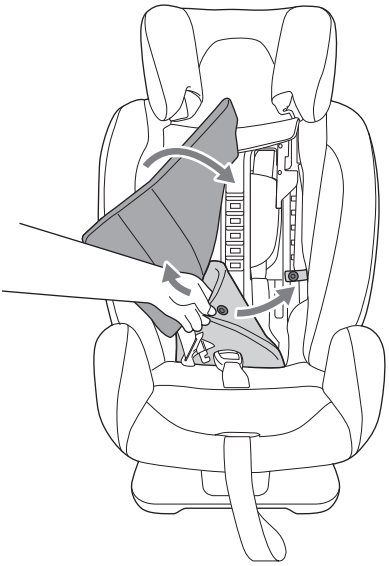
06

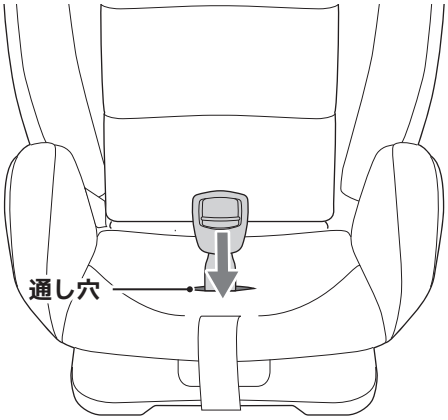
差込タングを肩ベルトコンパートメント内に押し込みます。左右とも同じようにしてください。



07
04 で外した左右のホックボタンを留めます。

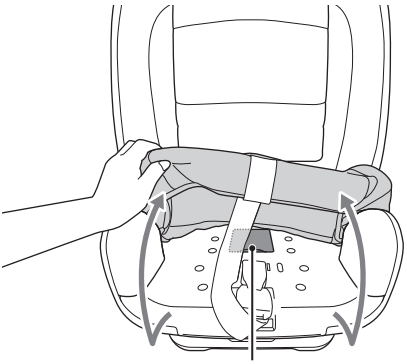
> ☞**ポイント!**
> ホックボタンを忘れずに留めなおしてください。

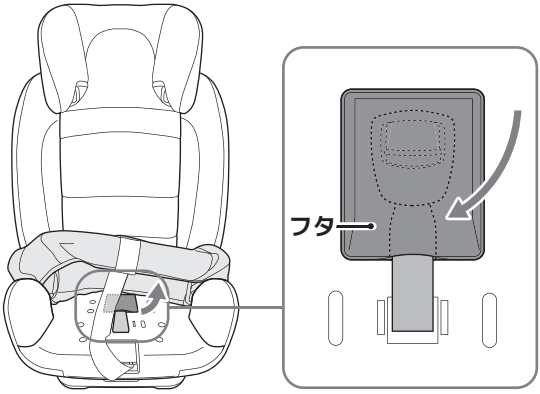




08
シートのカバーの座面部分の通し穴から受けバックルを抜きます。

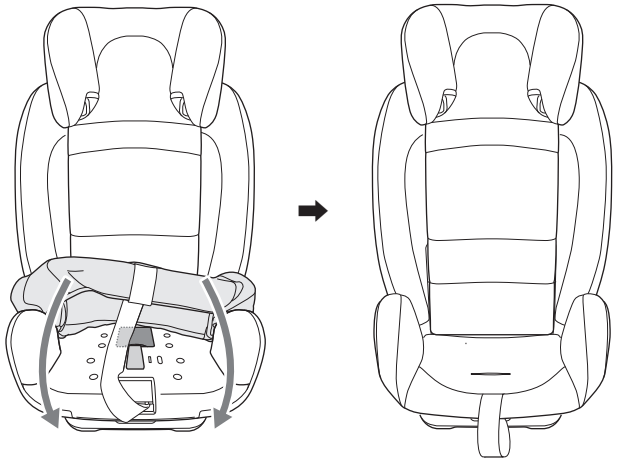
09
シートのカバーの座面先端部分をめくりあげます。
奥にある受けバックルコンパートメントを確認してください。





10
受けバックルコンパートメントのフタを開け、受けバックルを収納して、フタを閉じて（被せて）おきます。フタは完全には閉まりません。

11
シートのカバーを、元通りに被せます。これでブースターモードに切り替えられました。



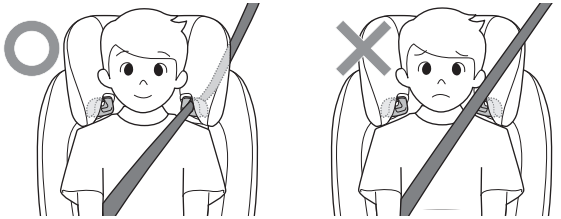
12
ブースターモードからハーネスモードへの切り替えは、逆の手順で行ってください。

肩ベルトの高さ調節

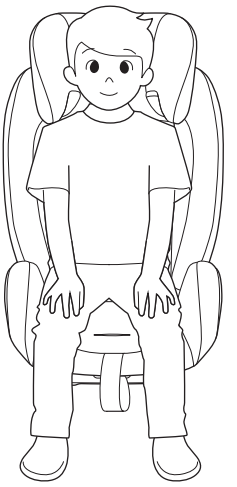
ブースターモードでは、お子さまは自動車の 3 点式シートベルトを装着します。
シートベルトの肩ベルトをヘッドサポートの肩ベルトガイドに通すことにより肩ベルトの高さを適切に調節して使用します。

⚠危険

肩ベルトガイドを適切に使用すること
ブースターモードで使用する際には、必ず肩ベルトガイドに肩ベルトを通して、高さを適切に調節して使用してください。肩ベルトガイドを使用しないと事故や衝撃を受けた際にお子さまに過剰な負担がかかったり、本製品からお子さまが飛び出すおそれがあります。



01
お子さまの背筋を伸ばし、楽な姿勢にしてシートに座らせます。シートの座面中央に深く座らせてください。

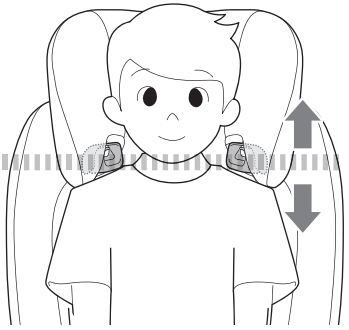


参照 P32 ▶お子さまの乗せかた▶ 02 ▶ポイント

02
ヘッドサポートの高さを調節して、肩ベルトガイドの高さを調節します。

参照 P24-25 ▶ヘッドサポート・肩ベルトの高さ調節

☞**ポイント!**
シートベルトを装着してから、もう一度肩ベルトガイドの高さを確認します。



ヘッドサポートは 9 段階で高さを調節することができます。肩ベルトガイドがお子さまの肩と水平、または少し上になる位置に調節してください。
高すぎたり、低すぎたりする場合は、ヘッドサポートの高さを調節して適切な高さに調節します。
お子さまの肩の高さよりも低い位置や高すぎる位置の場合､お子さまがシートベルトから抜けるおそれがあります。

お子さまの乗せかた

01
本製品を自動車の座席の上に置きます。本製品がシート背もたれとシート座席に接するようにして、座席の左右中央に置いてください。
ブースターモードでは本製品を座席に固定する操作はありません。シートベルトやその他のものの上に置かないように注意してください。

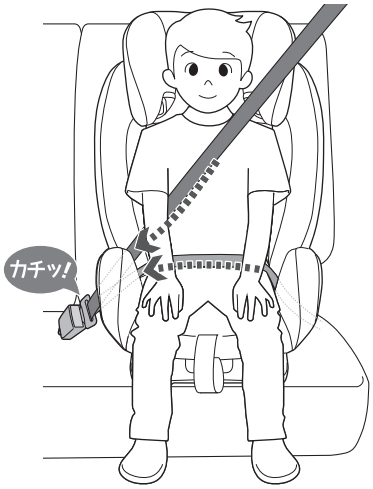
☞**ポイント!**
本製品のヘッドサポートが自動車の座席のヘッドレストに干渉する場合、自動車のヘッドレストを取り外すか、または高さ、角度を調節して､本製品のヘッドサポートが干渉しないようにしてください。

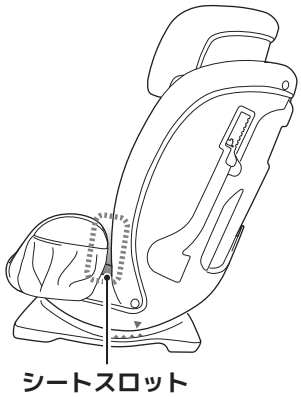
本製品のリクライニングまたはシート背もたれの角度を調節して、シート背もたれと、本製品のシート背面の角度が一致するようにしてください。

参照 P22-23 ▶リクライニングの使いかた

02

お子さまの背筋を伸ばし、楽な姿勢にしてシートに座らせます。シートの座面中央に深く座らせてください。シートベルトをねじらないように注意して引き出して、①シートバックル側のシートスロットに肩ベルトと腰ベルトを通し、②自動車のドア側のシートスロットに腰ベルトを通して、③自動車バックルを留めます。





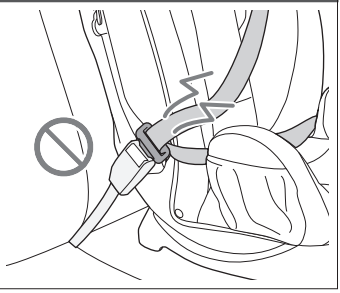
☞**ポイント!**

以下の説明では、本製品を右ハンドル車の助手席後ろの座席（自動車の進行方向に向かって左側の後部座席）に取り付ける場合を図示しています。右側の後部座席に取り付ける場合、図示とは左右を逆にして操作してください。

⚠危険

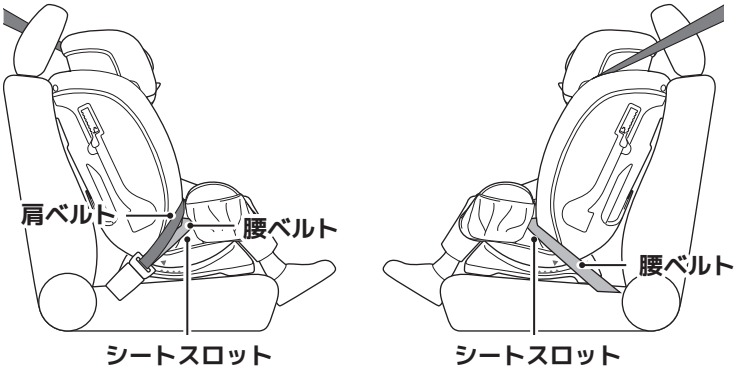
シートバックルが干渉する座席では使用しないこと

シートバックルのベルトが長すぎる、シートバックルの位置が前方すぎるなどして、バックスロットにシートバックルが干渉する場合、安定して本製品を固定することができませんので、その座席では使用しないでください。



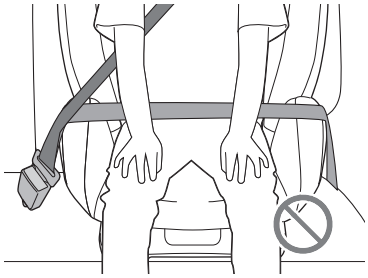
03

下図のように、シートベルトが正しい状態で左右のシートスロットを通っていることを確認してください。



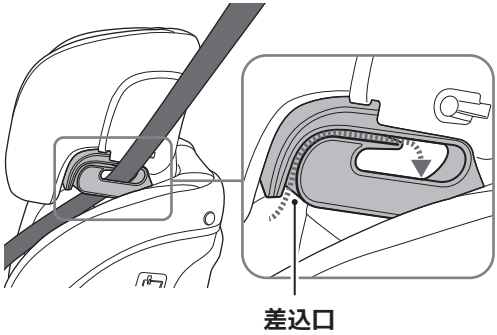
⚠危険

シートベルトはシートスロットを通すこと
シートベルトがシートスロットを通っていないと、本製品が所定の安全性能を発揮できず大変危険です。



04

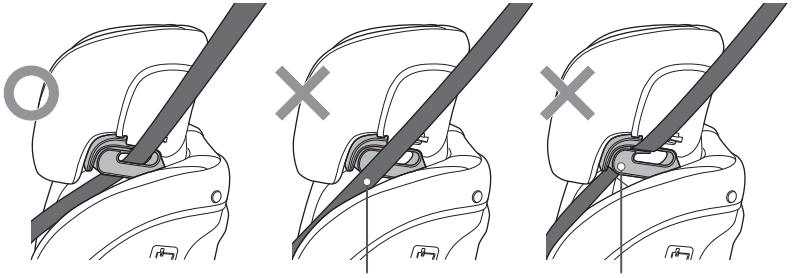
肩ベルトガイドに、肩ベルトを通します。肩ベルトガイドの下側の差込口から①肩ベルトを差し込み、②奥まで通して、③下図のような状態にします。



⚠危険

肩ベルトを正しく肩ベルトガイドに通すこと

事故や衝撃を受けた際に、本製品が所定の安全性能を発揮できないおそれがあります。肩ベルトを肩ベルトガイドの下側を通したり、奥まで通さずに使用しないでください。肩ベルトは、肩ベルトガイド以外の場所を通さないでください。



05

シート肩ベルトの高さが適切になるよう調整します。肩ベルトガイドがお子さまの肩と水平、または少し上になる位置に調節してください。

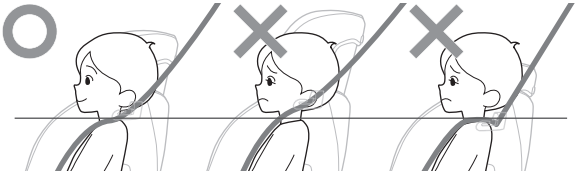
高すぎたり、低すぎたりする場合は、ヘッドサポートの高さを調節して適切な高さに調節します。

参照 P24-25 ▶ヘッドサポート・肩ベルトの高さ調節

⚠危険

肩ベルトガイドの高さを適切に調節すること

肩ベルトガイドは、お子さまの肩と水平、または少し上になる位置に調節します。肩ベルトガイドが高すぎたり、低すぎたりすると、お子さまが本製品から飛び出したりするなどして、思わぬ事故につながるおそれがあります。



06

シート肩ベルトが、左右で正しい位置を通るようにしてください。シート肩ベルトは、正しい高さで、正しい位置を通るようにしてください。

適切　　内側に寄りすぎ　　外側に寄りすぎ

⚠危険

シート肩ベルトは、必ず正しい位置を通すこと
シート肩ベルトが、正しい位置よりもお子さまの首側（内側）にあると事故や衝撃を受けた際にシート肩ベルトがお子さまの首を圧迫し大変危険です。正しい位置よりも外側の場合、事故や衝撃を受けた際にお子さまがシートベルトからすり抜けて飛び出るおそれがあります。
シート肩ベルトがお子さまの顔、頭部、首に掛かっている場合はそのまま使用せず、ヘッドサポートの高さの調節や、お子さまの着座位置や本製品の位置を左右に微調整するなどしてシート肩ベルトが正常な高さ、位置になるようにして使用してください。

シート腰ベルトだけで使用しないこと
シート肩ベルト、シート腰ベルトの両方を使用してください。シート肩ベルトを本製品の裏側に回したり、左右両方のシートスロットにシート肩ベルトを通すなどして、シート腰ベルトだけの状態にして使用してはいけません。

シートベルトを正しく使用すること
シートベルトをゆるめたり、シート肩ベルトを脇の下にして使用しないこと。
シート肩ベルトをお子さまの背中側にして使用しないこと。

お子さまを正しく座らせること
お子さまが前方にずれる（お尻を前にずらす）と、シート肩ベルトがお子さまの首にかかり、お子さまの首が締められるおそれがあります。
本製品使用中は、お子さまが正しい状態で座っているように注意して、適宜状態を確認してください。

⚠警告

シートベルト用の市販のアクセサリー類を取り付けないこと
本製品に干渉し、安全に機能しなくなるおそれがありますので、シートベルトの長さを調節する器具やシートベルト用のパッド類などの、市販のアクセサリー類を取り付けて使用しないでください。

07

①腰ベルトの位置を調節して、お子さまの骨盤の上にシート腰ベルトが通るようにします。②シート肩ベルトを引いてシートベルトにたるみがないようにします。

⚠警告

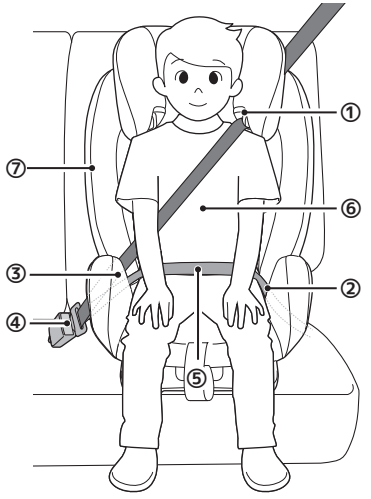
腰ベルトは骨盤の上を通すこと
事故や急制動などの際に衝撃を骨盤で受けられるよう、腰ベルトをお子さまの骨盤の上を通すようにしてください。骨盤の上を通っていないと、内臓の損傷や骨折にいたる危険性が高まります。

08

以下のチェックリストを確認して、正しい状態になっていることを確認してください。正しい状態になっていない部分がある場合は、正しい状態にしてから本製品を使用してください。

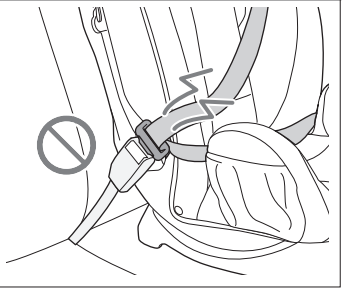
Check!

① シート肩ベルトの高さが適切に調節されていること。
シート肩ベルトにねじれがないこと。
シートベルトが適切に締め付けられていること。
② シート腰ベルトが、ドア側のシートスロットを通っていること。
③ シート腰ベルトとシート肩ベルトが、中央席側のシートスロットを通っていること。
④ シートベルトのバックルがしっかりと留まっていること。
シートベルトのバックルがシートスロットに干渉していないこと。
⑤ 腰ベルトがお子さまの骨盤の上を通っていること。
⑥ お子さまが正しい姿勢で座っていること。（前後左右にずれていないこと）
⑦ 本製品のシート背面と、シート背もたれの角度が近い状態になっていること。



⚠危険

シートバックルが干渉する座席では使用しないこと
シートバックルのベルトが長すぎる、シートバックルの位置が前方すぎるなどして、バックスロットにシートバックルが干渉する場合、安定して本製品を固定することができませんので、その座席では使用しないでください。



09

お子さまにシートバックルに手を触れないよう言い聞かせてご使用ください。
お子さまがシートバックルに手を触れ、バックルを外してしまうおそれがあります。

⚠警告

シートベルトは常に正しい状態で使用すること
お子さまがシートバックルに手を触れてバックルを外してしまったり、シートベルトから抜け出そうとしたりするおそれがあります。常日頃から、シートバックルには手を触れないよう、シートベルトを正しく装着しておくよう言い聞かせて、本製品の使用中は適宜安全の確認をするようにしてください。

☞**ポイント!**
お子さまが自分で乗り降りできるようになってからも、大人の監視のもとで乗り降りさせるようにして、本製品の操作は大人の方が行ってください。

お子さまは大人と違い、成長が早く体型も日々変化します。お子さまを乗せ降ろしするたびに、肩ベルト（ヘッドサポート、肩ベルトガイド）の高さが適切かどうか確認するようにして、必要に応じて調節するようにしてください。

10

お子さまを降ろす場合は、シートベルトのバックルを外してお子さまを降ろしてください。
ブースターモードの場合、本製品はお子さまが乗っていない状態では自動車の座席に固定されません。
お子さまを降ろしたら、本製品を車室外に出すか適切に固定するなどしておいてください。

お手入れのしかた

本製品では、お手入れのため、カバー類、パッド類を取り外すことができます。お手入れ後は、取り外したカバー類、パッド類を必ず元に戻してください。

⚠警告

カバー類、パッド類を取り外した状態で使用しないこと
本製品が所定の安全性能を発揮できなくなるおそれがありますので、本書で別段の指示がない限り、カバー類、パッド類を取り外した状態で使用しないでください。また、本製品に取り付けられている発泡ウレタン等の衝撃緩衝材（EPP ／ EPS フォーム　白い衝撃緩衝材）は安全に関わる重要な部品ですので、絶対に取り外さないでください。
また同様に、本製品に縫い付けまたは貼られているラベルやシールも本製品の適合する安全基準で規定されている重要な部品ですので、決してはがさないでください。

カバー類、パッド類を外した状態の本製品および、取り外したカバー類、パッド類はお子さまの手の届かない場所に置いておくこと
お子さまが本製品の機構部や隙間（ハーネス部やリクライニング機構部など）に手や指を差し入れてケガをするおそれがあります。
お手入れ等のため、カバー類、パッド類を外したら、取り付けなおすまでの間は、お子さまの手の届かない場所で保管するようにしてください。
またカバー類、パッド類は、お子さまの手の届かない場所でお手入れしてください。

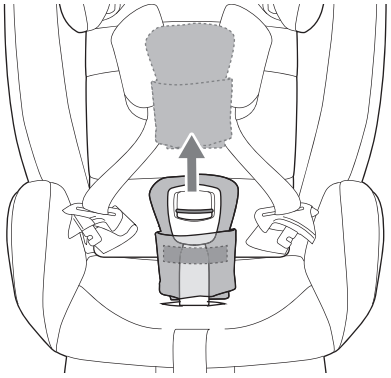
⚠注意

カバー類、パッド類の取り付け、取り外しは、慎重に作業してください
引っかかった感じがする場合、無理をせず、引っかかった場所がないかを確認するようにしてください。本製品に取り付けてある発泡ウレタン等の衝撃緩衝材に傷をつけないように注意してください。

カバー類、パッド類を取り外した状態の本製品を操作しないでください
ケガや破損のおそれがあります。すべてのカバー類、パッド類を取り付けなおすまでの間は、本製品を操作しないようにしてください。

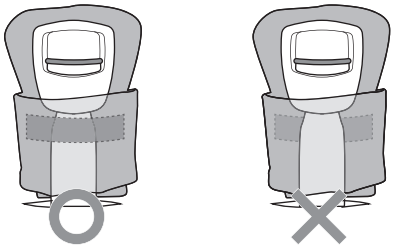
カバー類、パッド類の取り外し

01
バックルを外して、股ベルトパッドを抜き取ります。股ベルト（受けバックル）は、股ベルトパッドの内側のゴムバンドを通して固定されています。ゴムバンドから股ベルトを抜くようにして股ベルトパッドを取り外してください。



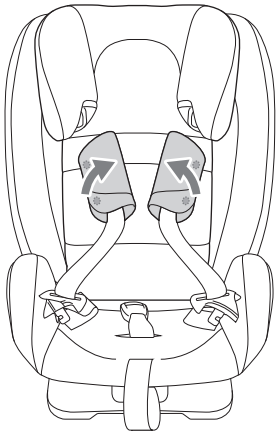
☞**ポイント!**

股ベルトパッドを取り付けなおす際には、股ベルト（受けバックル）を股ベルトパッドの内側のゴムバンドを通すようにしてください。ゴムバンドに通っていないと使用中に股ベルトパッドが抜け落ちるおそれがあります。



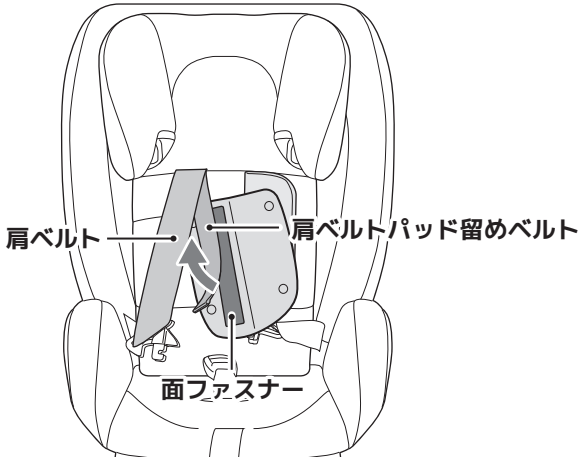
02

左右の肩ベルトパッドの外側上下で留めてあるホックボタンを外します（合計 4 か所）。



03

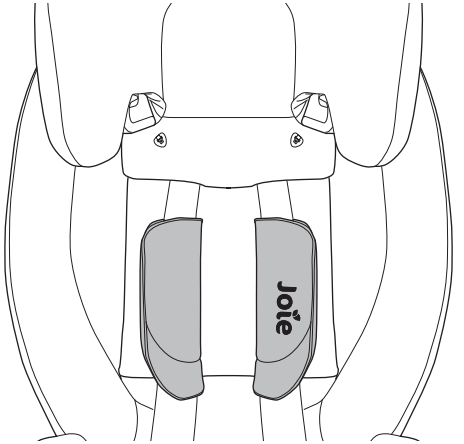
肩ベルトパッドは、肩ベルト（ハーネス）ではなく、肩ベルトの下側にある肩ベルトパット留めベルトに面ファスナーで留められています。肩ベルトパット留めベルトを外して、肩ベルトパッドを取り外します。左右とも同じようにしてください。



☞ポイント!

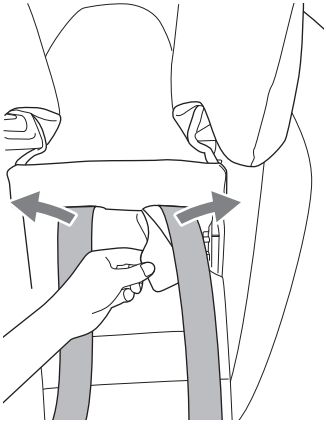
肩ベルトパッドには左右、上下があります。取り付けの際は、右図を参照して正しい向きで取り付けてください。
滑り止め加工されている側をお子さま側にして、Joieのロゴが入った肩ベルトパッドを向かって右側にして取り付けます。

取り付ける場合は、肩ベルトパッド留めベルトを肩ベルトパッドの面ファスナー全体に乗せるように合わせて留め、肩ベルトを挟むようにして、ホックボタンを留めてください。



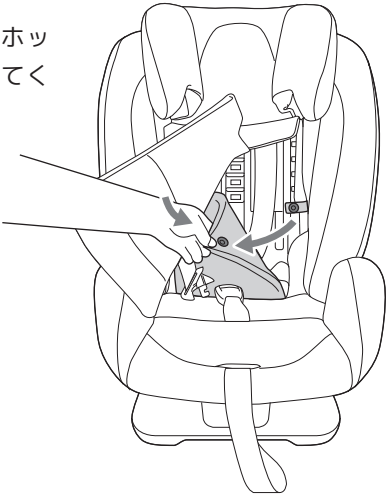
04

肩ベルト（ハーネス）をヘッドサポート下部の隙間（肩ベルトが通されている部分）から外側に抜いて外します。左右とも同じようにしてください。



05

本製品の背もたれの上下中央あたりに留められているホックボタン（左右）を外します。左右とも同じようにしてください。



06

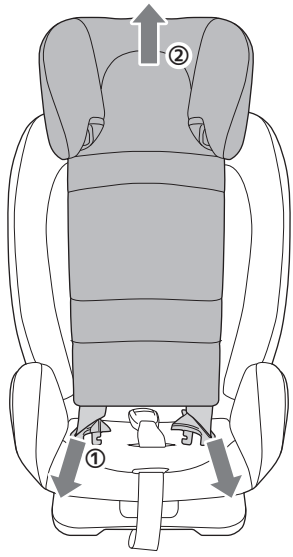
①肩ベルト（ハーネス）をゆるめて、②ヘッドサポートを最も高い位置に調節します。

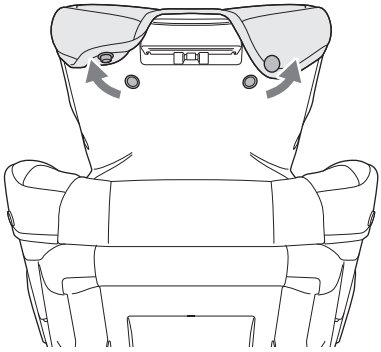
参照 P23 ▶肩ベルト（ハーネス）の長さ調節▶ 01

参照 P24 ▶ヘッドサポート・肩ベルトの高さ調節▶ 01

☞**ポイント!**

引っかかった感じがして、ヘッドサポートが高い位置に調節できない場合は、肩ベルト（ハーネス）をさらにゆるめてください。





07

ヘッドサポート上部背面でヘッドサポートのカバーを留めているホックボタン（2 ヵ所）を外します。

08

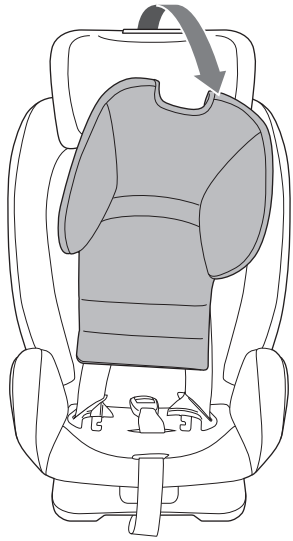
ヘッドサポートのカバーをゆっくりと前方向に取り外します。

⚠注意

衝撃緩衝材に注意してください

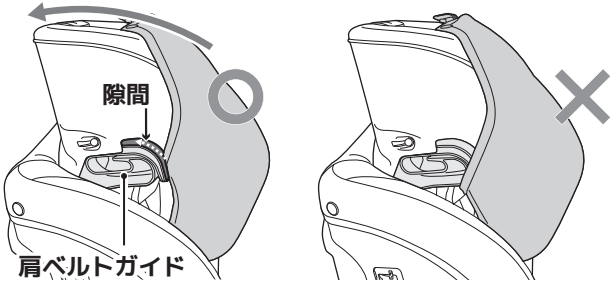
カバーが引っかかった感じがする場合、無理をせず、引っかかった場所がないかを確認するようにしてください。

ヘッドサポートに取り付けてある、発泡ウレタン等の衝撃緩衝材に傷をつけないように注意してください。



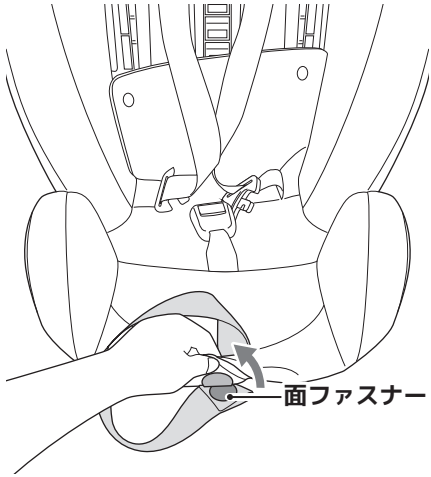
☞**ポイント!**

ヘッドサポートのカバーを取り付ける際には、肩ベルトガイドの上部とヘッドサポートの隙間に、カバーの縁を差し入れるようにして取り付けてください。



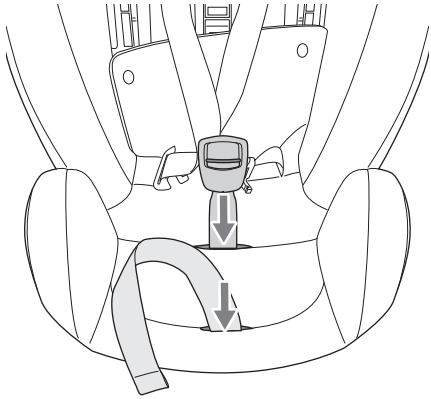
09

本製品の座面部先端のカバーの生地をめくって、アジャストベルトの先端とカバーを留めている面ファスナーを外します。

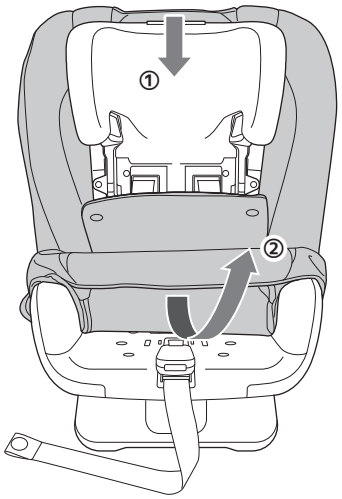


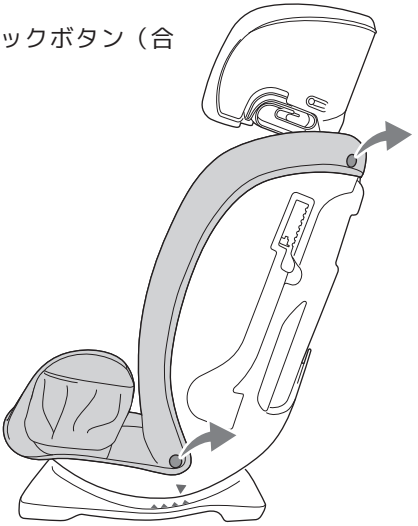
10

受けバックル（股ベルト）、アジャストベルトをそれぞれ、カバーの通し穴から抜きます。



11
シート側面の上部、下部の左右に留められているホックボタン（合計４ヵ所）を外します。





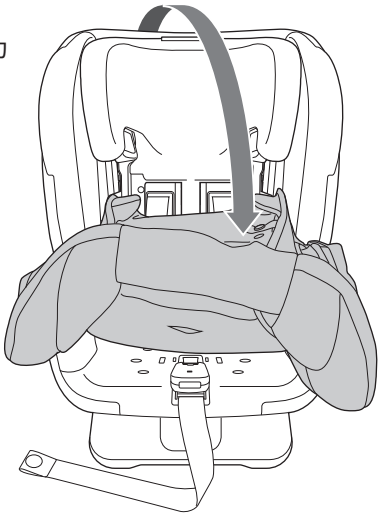
12
①ヘッドサポートを低い位置に調節してください。
②前端部のカバーを外して、めくります。

参照 P24 ▶ヘッドサポート・肩ベルトの高さ調節▶ 01

13
ヘッドサポートから抜くようにして、前方に向かってカバーを取り外します。

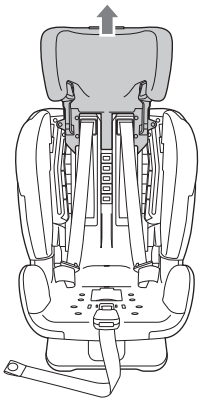
⚠注意

衝撃緩衝材に注意してください
カバーが引っかかった感じがする場合、無理をせず、引っかかった場所がないかを確認するようにしてください。
ヘッドサポートに取り付けてある、発泡ウレタン等の衝撃緩衝材に傷をつけないように注意してください。



☞ポイント!
カバーを取り付ける際には、ヘッドサポートを最も高い位置に調節しておくと作業がしやすくなります。

参照 P24-25 ▶ヘッドサポート・肩ベルトの高さ調節



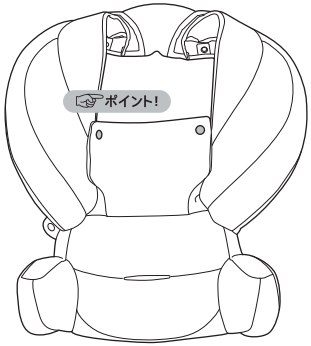
14
カバー類、パッド類の取り付けは逆の手順で行います。

カバー類、パッド類のお手入れ

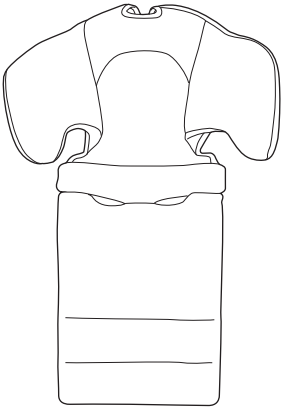
取り外したカバー類とパッド類は、以下の表示に従ってお手入れしてください。汚れがひどい場合には、薄めた中性洗剤を使用してください。洗剤を使用した場合、水でよくすすぎ、洗剤を完全に落としてください。

⚠注意

指定外の方法で洗濯しないこと
指定外の方法で洗うと、破損や破れ、型崩れ、縮みの原因になります。



シートカバー



ヘッドサポートカバー

肩ベルトパット

股ベルトパット

☞**ポイント!**
シートカバーおよび肩ベルトパッドのホックボタンを留めて洗濯してください。破損や、ホックボタンが触れることにより発生する、他の生地へのキズを防ぐことができます。

① 液温 30℃を限度に、洗濯機で洗うことができます（手洗いをお勧めします）
洗濯機の容量、機種によっては、脱水機能使用時に、重量の偏りにより洗濯機が故障するおそれがあります。脱水時に偏りが発生した場合などは、30℃以下の水温で手洗いしてください。
また、ヘッドサポートの下部、シート部のカバーの側面部は変形するおそれがありますので、力が掛からないよう注意して洗濯してください。

② 漂白剤は使用しないでください
劣化を早め、変退色、破損の原因となりますので、塩素系、酸素系の漂白剤は使用しないでください。

③ タンブラー乾燥をしないでください
破損、損傷、縮みの原因となりますので、タンブラー乾燥（乾燥機）はしないでください。

④ しっかりと開いて陰干ししてください
型崩れしないようしっかりと開いて日陰で吊り干ししてください。

⑤ アイロンは使用しないでください
破損、縮み、生地が溶ける原因となります。

⑥ ドライクリーニングしないでください
変色、破損、縮みの原因となります。商業クリーニング、ドライクリーニングは避けてください。

⑦ 原液の中性洗剤、有機溶剤を使用しないでください
未希釈の中性洗剤、ガソリン、シンナーなどは使用しないでください。変質、溶解、破損、損傷のおそれがあります。

⑧ きつく絞らないでください
型崩れ、変形、破損の原因となります。

お手入れ後の取り付け

カバー類、パッド類はよく乾かしてから取り付けてください。

⚠危険

潤滑剤を絶対に使用しないこと
お手入れやメインテナンス時にシリコンオイル、グリース、ミシン油などの潤滑剤を絶対に使用しないでください。
潤滑剤が付着すると本製品が変質、破損したり、安全に機能しなくなったりするおそれがあります。

樹脂部分・衝撃緩衝材

01

表面の汚れは、お湯または水につけて、きつく絞った柔らかい布で汚れを拭きとってください。衝撃緩衝材は特にやさしくお手入れしてください。
洗剤類は使用しないでください。内部や、手の届かない場所のお手入れは、市販のエアダスターを使用するか、掃除機を使用してゴミやほこりを吸い取るようにしてください。

⚠注意

洗剤類、ウエットタオルは使用しないでください
洗剤類、市販のウエットタオル（ウエットティッシュ）、赤ちゃんのお尻ふき、などは使用しないでください。含まれる成分によって、樹脂や衝撃緩衝材に影響を与えるおそれがあります。劣化、変質、溶解の原因になる可能性があります。特に、衝撃緩衝材は溶解するおそれがありますのでご注意ください。

金属部分

01

金属部分は、お湯または水につけて、きつく絞った柔らかい布で汚れを拭きとってください。食べかすなど油分を含む汚れを落とす場合には、薄めた中性洗剤を溶かした水につけ、良く絞った柔らかいタオルで汚れをふき取るようにしてお手入れしてください。中性洗剤を使用した場合は、お手入れ後に洗剤をよくふき取ってください。

⚠危険

水を直接かけないでください
サビが発生し、本製品が正常に機能しなくなるおそれがあります。
水分を使用してお手入れした場合は、しっかりと乾燥させてください。

ハーネス・バックル

01

表面の汚れは、お湯または水につけて、きつく絞った柔らかい布で汚れを拭きとってください。洗剤類は使用しないでください。受けバックルの内部のお手入れは、市販のエアダスターを使用するか、掃除機を使用してゴミやほこりを吸い取るようにしてください。

⚠危険
水を直接かけないでください **サビが発生し、本製品が正常に機能しなくなるおそれがあります。** **水分を使用してお手入れした場合は、しっかりと乾燥させてください。**
潤滑剤を使用しないこと **お手入れ、メインテナンス時にシリコンオイル、グリース、ミシン油などの潤滑剤や、その他潤滑性のある物質を含む洗剤等を絶対に使用しないでください。潤滑剤に限らず潤滑性のある洗剤等の物質が付着すると、バックルが正しく機能しなくなり思わぬ事故につながるおそれがあります。**

除菌・抗ウイルス製品の使用にあたっての注意

除菌・抗ウイルスのスプレー、ミスト、ジェル等の製品には、本製品の縫製品、樹脂、金属に影響を与える成分が含まれている可能性があります。本製品に対する使用にあたっては、あらかじめこれらの製品のメーカーにお問い合わせの上、影響の有無等をご確認ください。

保管のしかた

長期間ご使用にならない場合は、自動車から取り外しておいてください。

直射日光を避けて、寒暖差および湿気の少ない室内のお子さまの手の届かない場所で保管してください。

雨風のあたる場所、露天では保管しないでください。

廃棄のしかた

本製品を廃棄する際には、お住まいの自治体の指示に従い、正しく廃棄するようにしてください。
また、再利用による事故を防ぐため「廃棄品」と明示しシートを破るなどして、再利用を不可能な状態にして廃棄するようお願いいたします。

保証書

保証期間	お買い上げ日より1年間		
製品名	ジョイー・チャイルドシート **フォーティファイ R129**		
お買い上げ日			
お客様	ご住所 〒　　－ お名前 電話番号　　－　　－	お買い上げ販売店名	店名 住所 電話番号

本製品の保証は、規定の内容に従いお買い上げ日から１年間有効となります。お買い上げ日やお買い上げいただいた販売店名が不明の場合保証の対象となりませんので、お買い上げいただいた際のレシートや領収書等を本取扱説明書と一緒に保管するようにしてください。

1. 保証期間中に正常な使用状態において、万が一故障が発生した場合には無償で修理いたします。ただし、ご購入時の初期不良の場合を除いて、修理に要する送料はお客様にご負担いただきます。
2. 保証期間内であっても次のような場合には、有償での修理となります。
   - 本保証書原本の提示がない場合（コピーされた保証書は無効です）および記入事項の字句に書き換えが認められる場合
   - お客様のご購入を証明することができない場合
   - 本取扱説明書および製品本体に表記されている指示内容に従わなかったために生じた故障、破損、不良の場合

見本

・正常な使用、お手入れにより生じた傷や汚損、破損、日焼けによる表面の劣化、シートカバー類等縫製品のほつれの場合
・部品の紛失の場合

3. 次のような場合には、安全のため、保証期間、有償、無償に関わらず修理することができません。
・事故や落下などの強い衝撃を受けたことにより生じた故障、破損、汚損の場合
・誤使用、または改造、不当な分解によって生じた故障、破損、汚損の場合
・本保証書にお買い上げ日、お客様名、販売店名の記載のない場合
・並行輸入品や海外で購入された製品の場合
・業務用、レンタル等、一般家庭外で使用されている場合
・中古品の場合
・本製品に貼り付けられているシール類がはがされている場合
・本製品の製造が終了し、修理に必要な部品が無い場合
4. 本製品を正しく使用することにより生じた、自動車の座席表面やシートベルトの傷、取り付けあと等は保証いたしかねます。
5. 一度でもご使用になった製品のお取り換えはできません。
6. 保証は日本国内においてのみ有効です。

本書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。

※製品は万全を期して製造しておりますが、万が一不都合な点がございましたら弊社お客様サービスまでお問い合わせください。
※性能向上のため、予告なく仕様を変更する場合があります。
※本書に記載いただいた個人情報につきましては、個人情報保護法の規定を準拠し、本保証に関わる範囲においてのみ使用いたします。

（本製品に関するお問い合わせ先）
株式会社カトージ　お客様サービス
電話：0568-67-5701　平日10~17時（土日祝日を除く）
www.katoji.co.jp

（Joie日本総代理店）
株式会社カトージ　〒484-0894　愛知県犬山市羽黒北金屋39-2

レシート等を貼り付けてください

Allison GmbH
Adam-Opel-Straße 21 67227
Frankenthal

Joie™

bring the kids™

Share the joy at joiebaby.com

250700